

第2期上尾市スポーツ推進計画（案）

健康で活力に満ちたスポーツ活動の推進

スポーツは、行うことで楽しみや喜びを感じられるだけでなく、健康な身体を育み、健康の維持・増進に寄与するものです。また、人をつなぎ、私たちの生活に夢や目標をもたらし、上尾市の魅力向上や経済的な効果など多様な役割を担っています。

本計画では、「第1期上尾市スポーツ推進計画」の考え方を引き継ぎ、「第3期上尾市教育振興基本計画」の基本方針を実現するため、市民の皆様にスポーツに親しむ環境の整備と機会を提供していきます。オリンピック・パラリンピックの開催でスポーツへの関心が高まりつつある中、上尾市においても今後のコロナ禍の社会に与える影響を見極め、新たな変化を的確に把握し、基本理念である「健康で活力に満ちたスポーツ活動の推進」が営めるよう、関係各課と連携を取りながら努めてまいります。

結びに、この計画の策定にあたり、ご尽力いただきました上尾市スポーツ推進審議会委員の皆様をはじめ、貴重なご意見をお寄せいただきました市民の皆様、関係各位に心からお礼申し上げますとともに、今後とも上尾市のスポーツ推進につきまして、御理解、御支援をいただきますようお願い申し上げます。

令和3年3月

上尾市教育委員会

目次

第1章 計画の概要	1
1 計画策定の趣旨	3
2 計画の期間	4
3 計画におけるスポーツの定義	4
4 計画の位置づけ	5
第2章 上尾市のスポーツの現状と課題	7
1 上尾市を取り巻く環境	9
(1) 人口	9
(2) 子どもの体力	10
(3) 健康寿命の推移	11
2 上尾市スポーツ施設の状況	12
3 市民のスポーツ活動の実態	13
(1) 市民意識調査（18歳以上市民のスポーツ活動の現状）	14
(2) 児童生徒調査（小学生・中学生のスポーツ活動の現状）	20
(3) 団体調査（市内で活動する団体のスポーツ活動の現状）	23
4 第1期計画のまとめ	26
5 アンケート結果などに基づく課題の整理	29
第3章 具体的な施策展開	31
1 計画の基本的な考え方	33
(1) 基本理念	33
(2) 持続可能な社会に向けた動き	34
(3) 技術革新の進展	35
2 施策の体系	36
3 施策の展開	37
基本目標1 誰もがスポーツを楽しめる環境の充実.....	37
基本目標2 誰もがスポーツを楽しめる機会の充実.....	38
基本目標3 地域におけるスポーツ活動の活性化の推進.....	42
基本目標4 子どものスポーツ活動の充実.....	44
4 数値目標	46
第4章 計画の推進	47
1 推進体制	49
2 進行管理	49

参考資料	51
1 上尾市スポーツ推進審議会委員名簿	53
2 第2期上尾市スポーツ推進計画策定の経過.....	55
3 上尾市スポーツ推進審議会条例	56
4 上尾市スポーツ推進審議会規則	58
5 用語解説	60
6 上尾市スポーツ推進に関する調査 自由記述.....	63
(1) 市民意識調査	63
(2) 団体意識調査	81

第1章 計画の概要

1 計画策定の趣旨

近年、少子高齢化などによる人口構造の急激な変化や情報化の進展、環境問題の深刻化などにより社会全体が大きく変化し続けている中で、「共生社会の実現」「青少年の健全な育成」「健康長寿社会の実現」「地域の活性化」といったスポーツがもたらす効果に対して、その重要性が改めて認識されています。

国では平成29(2017)年に「第2期スポーツ基本計画」が策定され、新しい時代におけるスポーツの価値や意義が示されるとともに、「スポーツ参画人口」を拡大し、他分野との連携・協力により「一億総スポーツ社会」の実現に取り組むことが基本指針として提示されています。さらに、「2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催を前に、スポーツに関する施策の総合的な推進を図ることを任務とするスポーツ庁が設置されました。そして、平成28(2016)年に開催されたりオデジャネイロオリンピック競技大会では、日本選手団が史上最多となる41個のメダルを獲得し、続くパラリンピックでは前回のロンドン大会を上回る24個のメダルを獲得したり、令和元(2019)年に開催されたラグビーワールドカップ2019™日本大会では、日本がアジアラグビー史上初の8強進出を遂げました。日本選手団の活躍に日本中が熱狂し、これまで報道されることが少なかったパラリンピックについても、大きく取り上げられるようになりました。これから市がスポーツ推進に取り組むにあたっては、このような環境変化を的確に捉えていかなければなりません。

市では、平成26(2014)年度に「上尾市スポーツ推進計画」を策定し、「健康で活力に満ちたスポーツ活動の推進、を基本方針としてスポーツ推進に努めてきました。

本計画は、第1期計画の計画期間が終了することに伴い、国及び県の計画における考え方、そして令和3(2021)年度からの市の新たな総合計画の考え方などを踏まえ、令和3(2021)年度から令和7(2025)年度までを計画年として、新たに「第2期上尾市スポーツ推進計画」を策定し、市が抱える課題を反映した具体的な施策を定めるものです。

2 計画の期間

本計画は、令和3(2021)年度から令和7(2025)年度までの5年間を計画期間とします。

	令和 3 (2021)	4 (2022)	5 (2023)	6 (2024)	7 (2025)	8 (2026)	9 (2027)	10 (2028)	11 (2029)	12 (2030)
第6次上尾市総合 計画	基本構想(10年間)									
	前期基本計画(5年間)					後期基本計画(5年間)				
第3期上尾市教育 振興基本計画	5年間									
第2期スポーツ推 進計画	5年間									

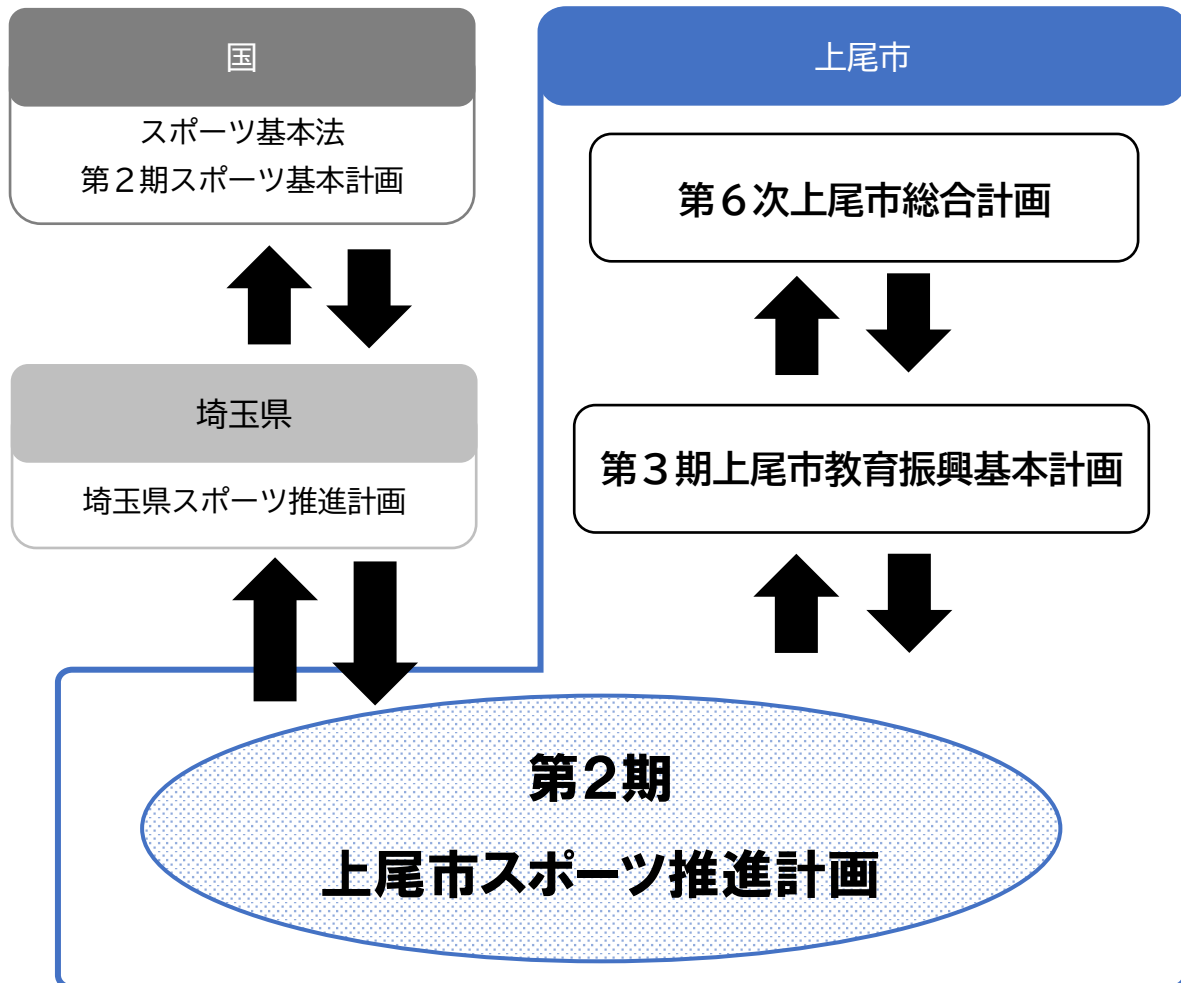
3 計画におけるスポーツの定義

本計画における「スポーツ」とは、ルールに基づいて勝敗や記録を競う競技性の強いものだけでなく、ウォーキング、ラジオ体操など、健康づくりのために目的を持って自主的に行う身体活動を広く含めます。

そのほか、スポーツは「する」ものという考え方が一般的ですが、必ずしもそれだけとは限らず、スポーツ観戦や友人のスポーツを応援する「みる」こと、競技スポーツの指導やスポーツイベントのボランティアによる「ささえる」こともあります。そこで本計画では、「する」こと、「みる」こと、「ささえる」ことを、広くスポーツとの関わり方としています。

4 計画の位置づけ

本計画は、市の最上位計画である「第6次上尾市総合計画」の下、その他個別計画や、国の「スポーツ基本法」及び「第2期スポーツ基本計画」、県の「埼玉県スポーツ推進計画」との整合性を図った上で、市のスポーツに係る基本計画として策定します。



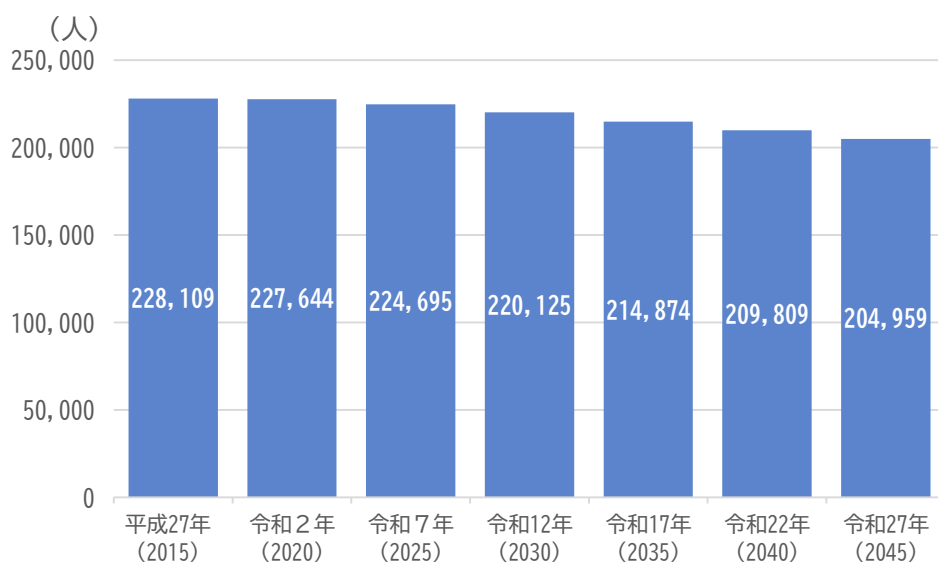
第2章 上尾市のスポーツの現状と課題

1 上尾市を取り巻く環境

(1) 人口

市の人口は、平成27(2015)年から横ばいの推移となっておりましたが、令和7(2025)年頃から減少傾向に転じ、令和27(2045)年には23,150人(10.1%)減少し、204,959人になると見込まれます。

年齢区分別にみると、生産年齢人口(15~64歳)は減少傾向で推移し、令和27(2045)年には平成27(2015)年と比べて23.3%減少し、総人口に対する割合が53.0%になると予測されています。一方、老年人口(65歳以上)の割合は上昇し、令和27(2045)年には人口の3割以上を占めると予測されています。



	平成27(2015)年	令和27(2045)年
年少人口	29,384人(12.9%)	21,170人(10.3%)
生産年齢人口	141,488人(62.0%)	108,552人(53.0%)
老年人口	57,237人(25.1%)	75,237人(36.7%)

出典：上尾市「上尾市推計人口及び将来展望推計人口について」(令和2(2020)年)

※令和2(2020)年以降は推計値

(2) 子どもの体力

子どもの体力・運動能力は、昭和60(1985)年から現在まで全国的に低下傾向が続いています。

また、過去5年間の市内の子どもの体力・運動能力について、小学生は埼玉県平均値を下回って推移している一方、中学生は県平均値を上回ることが多くみられます。5年間で増減を繰り返しながらも、小学生・中学生ともに体力低下が見受けられます。

子どもの体力(全国平均値)の比較(昭和60(1985)年・令和元(2019)年)

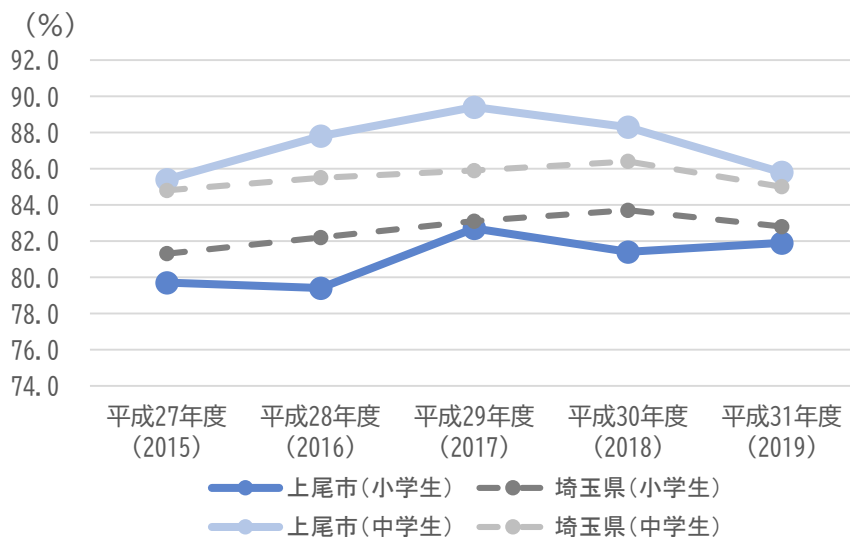
	握力(kg)		反復横跳び(点)		50m走(秒)		ボール投げ ^{※1} (m)		持久走 ^{※2} (秒)	
	S 60	R01	S 60	R01	S 60	R01	S 60	R01	S 60	R01
小5男子	18.35	16.37	39.46	41.74	9.05	9.42	29.94	21.60	—	—
小5女子	16.93	16.09	37.94	40.14	9.34	9.63	17.60	13.59	—	—
中2男子	31.61	28.64	—	—	7.90	8.02	22.10	20.35	366.40	400.03
中2女子	25.56	23.74	—	—	8.57	8.81	15.36	12.87	267.11	290.55

※1：小学生は「ソフトボール投げ」、中学生は「ハンドボール投げ」

※2：男子は1,500m、女子は1,000m

出典：スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

体力総合評価^{※3} 市内平均値と埼玉県平均値の推移

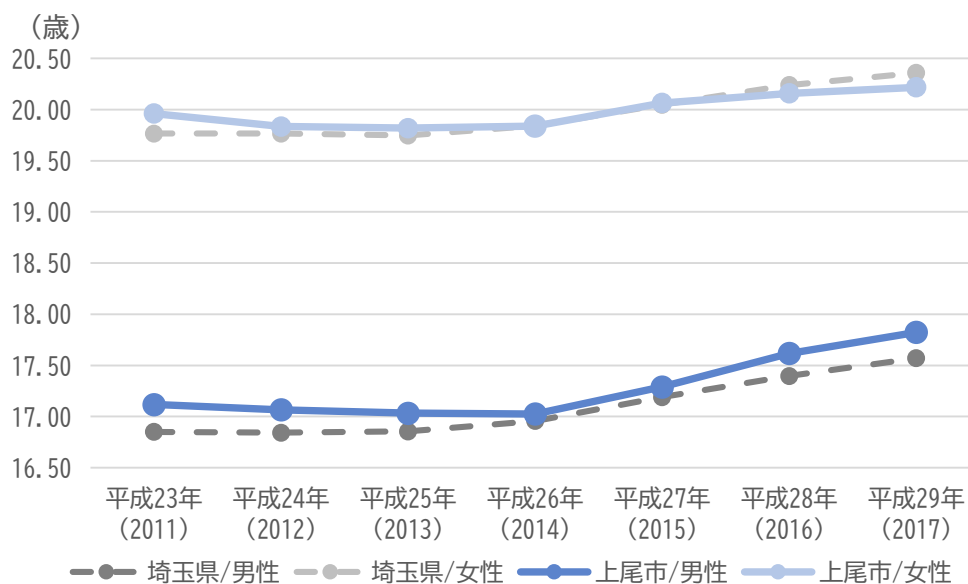


※3：総合評価とは体力テストにおけるA、B、Cの合計値

出典：埼玉県「埼玉県児童生徒の新体力テスト」

(3) 健康寿命の推移

市の65歳健康寿命※をみると、男性は年々増加しており県を上回る数値となっています。女性は平成25(2013)年までは県を上回る数値となっていました。しかし、平成26(2014)年以降、市の数値は増加傾向にありますが、県を下回る結果となっています。



出典：埼玉県「埼玉県健康指標総合ソフト」

※ 健康寿命

埼玉県では、65歳に達した人が健康で自立した生活を送ることができる期間、具体的には、介護保険制度の「要介護2以上」になるまでの期間を「健康寿命」として算出しています。

2 上尾市スポーツ施設の状況

現在市内で利用可能なスポーツ施設などについては以下のとおりです。

(令和2(2020)年4月1日現在)

	名称	種別
1	上尾市平方スポーツ広場	野球場・ソフトボール場 グラウンドゴルフ・ゲートボール場・多目的広場
2	上尾市平方野球場	野球場
3	浅間台大公園	多目的広場
4	上尾市民球場	野球場
5	平塚ゲートボール場	ゲートボール場
6	上尾市平塚サッカー場	サッカー場
7	上平公園テニスコート	テニスコート
8	平塚公園テニスコート	
9	戸崎公園	パークゴルフ場
10	上尾市民体育館	体育館・テニスコート
11	平方公民館	集会室兼体育室
12	原市公民館	集会室兼体育室
13	大石公民館	集会室兼体育室
14	上平公民館	集会室兼体育室
15	大谷公民館	集会室兼体育室

3 市民のスポーツ活動の実態

1. 調査目的

上尾市スポーツ推進計画の策定に向けて、市民、児童生徒の運動・スポーツの実施状況や意識を把握するとともに、スポーツ関係団体などの実態を調査し、市におけるスポーツ推進の現状と課題を把握することを目的として、アンケート調査を実施しました。

2. 調査対象及び回収状況

調査名	調査対象	配布件数	回収数	回収率	
①市民	市内在住の18歳以上の市民	3,000件	1,259件	42.0%	
②児童生徒	(ア)小学生	市内小学校に通う小学生	457件	419件	91.7%
	(イ)中学生	市内中学校に通う中学生	477件	443件	92.9%
③団体	市内のスポーツ関連団体	43件	41件	95.3%	

3. 調査期間と調査方法

調査期間:令和2(2020)年6月19日～令和2(2020)年7月17日

調査方法:①市民:郵送配布－郵送回収

②児童生徒:協力依頼した学校において配布・回収

③団体:郵送配布－郵送回収

4. 調査結果を見るうえでの注意事項

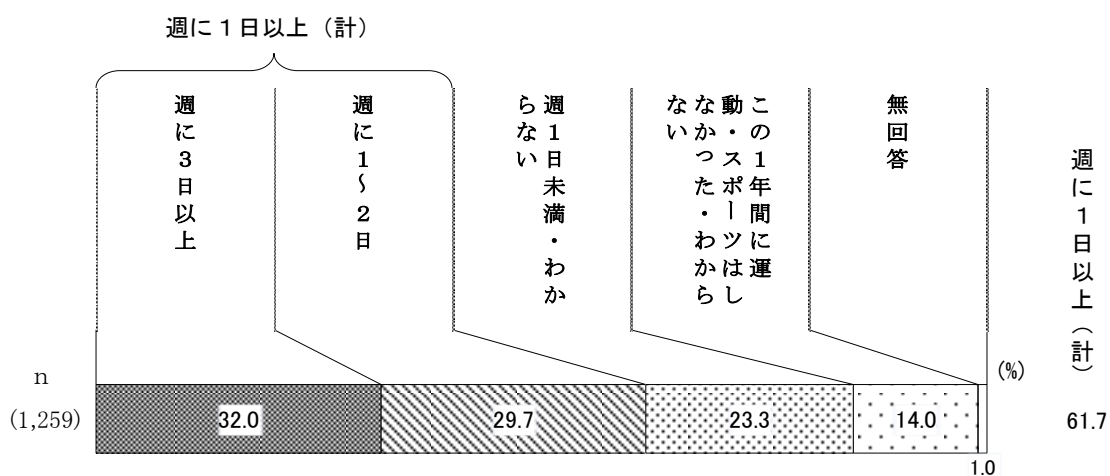
- (1)本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- (2)百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示します。したがって、単数回答(1つだけ選ぶ問)においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合があります。
- (3)複数回答(2つ以上選んでよい問)においては、%の合計が100%を超える場合があります。
- (4)回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合があります。

(1) 市民意識調査 (18 歳以上市民のスポーツ活動の現状)

ア スポーツ実施状況について

- (ア) 週に1日以上運動・スポーツを実施する人の割合は61.7%となっています。
- (イ) 30代で週1日以上運動・スポーツを実施している人は他の年代に比べて少ないです。
- (ウ) 40代以降は年代が高くなるにつれて、おおむね実施率も高くなっています。
- (エ) 「この1年間に運動・スポーツはしなかった」「わからない」は14.0%です。

スポーツの実施頻度・実施率(市民)



年代別のスポーツ実施頻度・実施率(市民)

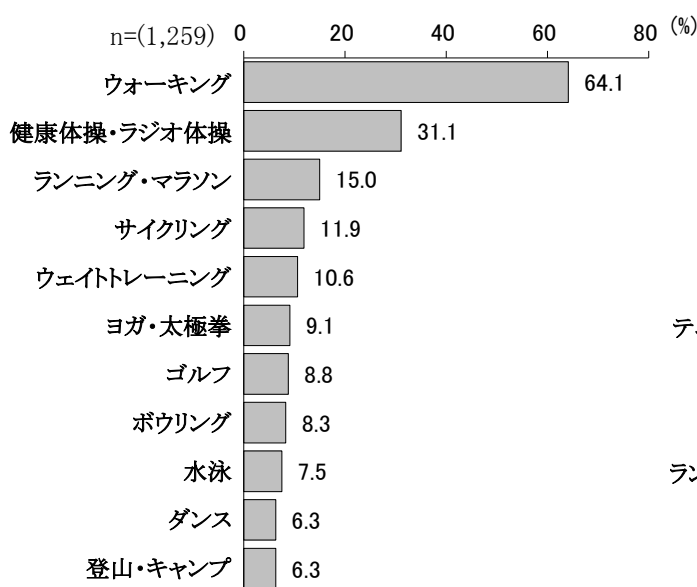
	調査数	週に3日以上	週に1〜2日	週に1日未満・わからない	この1年間に運動・スポーツはしなかった・わからない	無回答	週に1日以上 (計)
全体	1,259	32.0	29.7	23.3	14.0	1.0	61.7
18〜19歳	21	38.1	23.8	28.6	4.8	4.8	61.9
20〜29歳	92	17.4	27.2	40.2	15.2	-	44.6
30〜39歳	138	15.9	23.9	41.3	18.1	0.7	39.9
40〜49歳	247	20.2	35.2	30.0	13.8	0.8	55.5
50〜59歳	194	23.7	34.0	24.7	16.5	1.0	57.7
60〜69歳	204	42.2	26.0	15.2	16.2	0.5	68.1
70〜79歳	270	51.5	29.3	8.9	8.9	1.5	80.7
80歳以上	82	40.2	26.8	15.9	14.6	2.4	67.1
無回答	11	27.3	36.4	27.3	9.1	-	63.6

(オ)現在実施しているスポーツでは「ウォーキング」が64.1%で一番多く、次いで、「健康体操・ラジオ体操」「ランニング・マラソン」となっています。

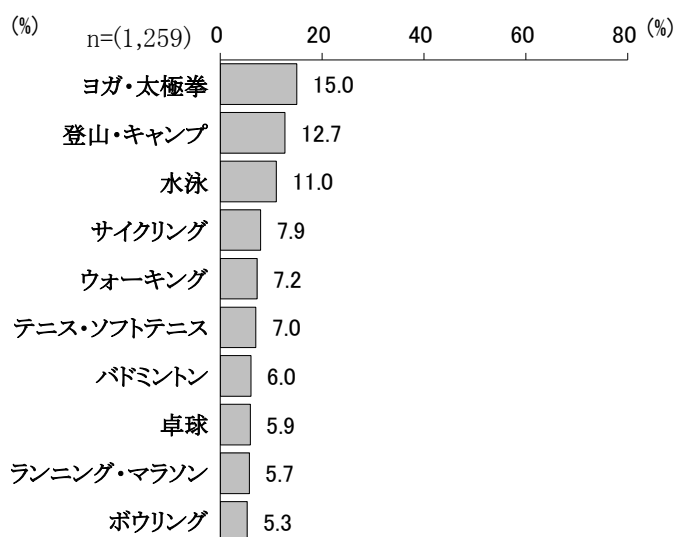
(カ)今後行ってみたいスポーツとしては、「ヨガ・太極拳」「登山・キャンプ」「水泳」が挙げられています。

(キ)個人で実施可能な種目にニーズが高まっており、野球やサッカーなどの団体種目のニーズは比較的低くなっています。

現在実施中のスポーツ(上位10種目)(市民)

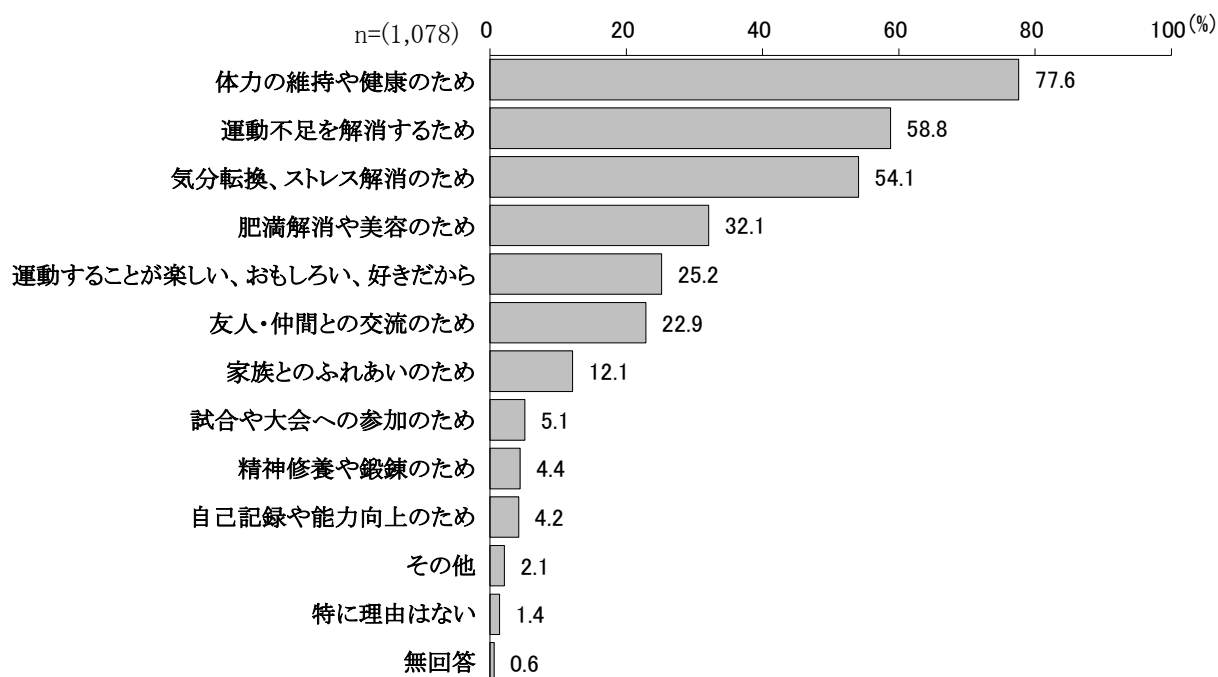


実施したいスポーツ(上位10種目)(市民)



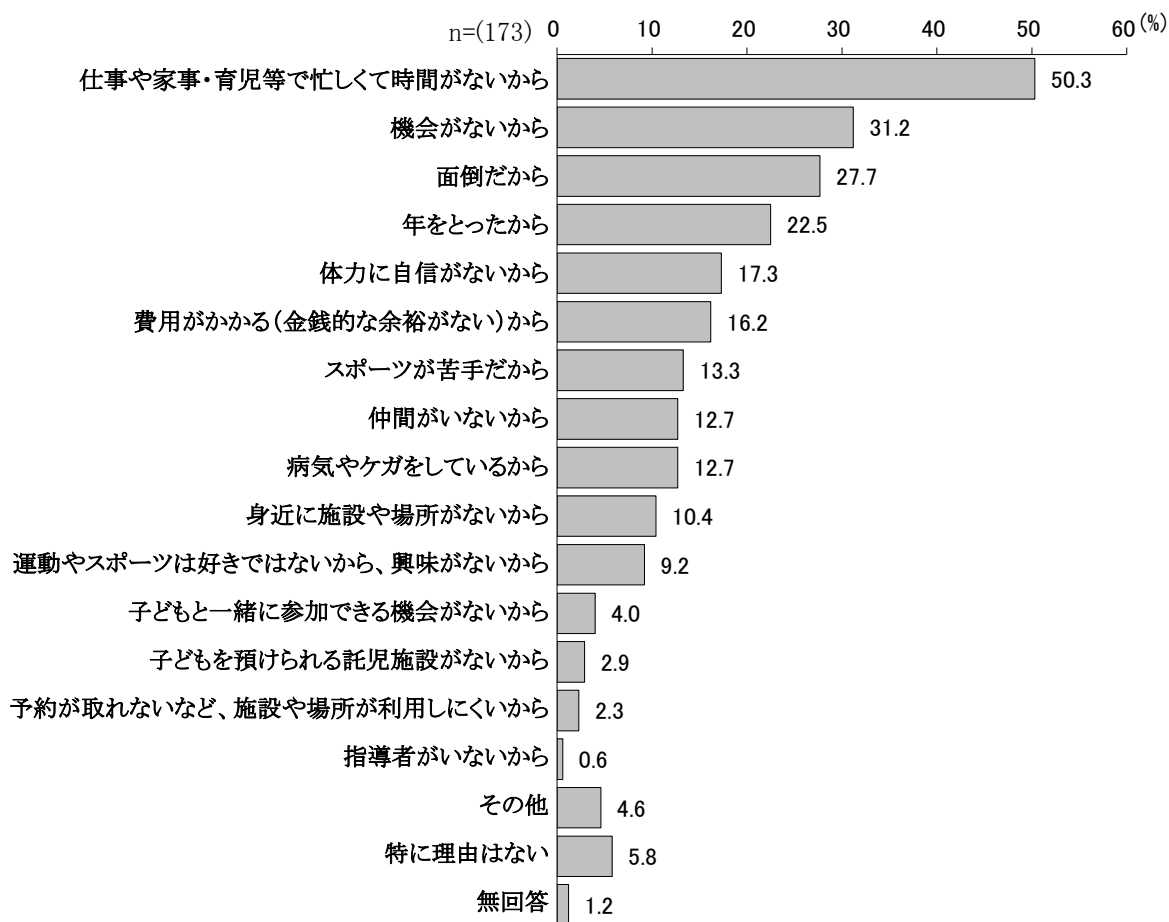
(ク)運動・スポーツを行う理由は、「体力の維持や健康のため」が77.6%で最も多く、次いで、「運動不足を解消するため」が58.8%、「気分転換、ストレス解消のため」が54.1%となっています。

運動やスポーツをする理由(市民)



(ケ) 運動・スポーツを行っていない理由は、「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」が50.3%で最も多くなっています。次いで、「機会がないから」「面倒だから」「年をとったから」といった理由が多くなっています。

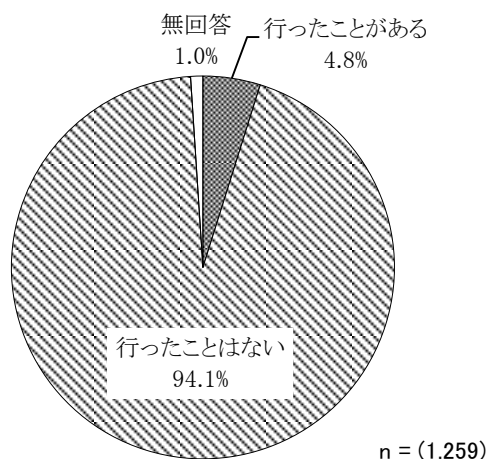
運動やスポーツを行っていない理由(市民)



イ スポーツボランティア・イベントについて

(ア) 過去1年間のスポーツに関するボランティア活動への参加率は4.8%にとどまっています。

過去1年間のスポーツに関するボランティア活動の実施状況(市民)



ウ スポーツ観戦について

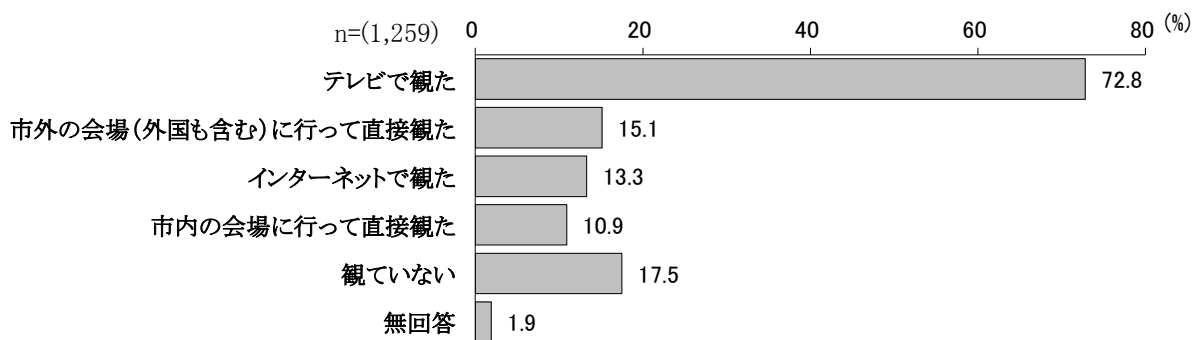
(ア) この1年間にスポーツを「テレビで観た」は72.8%、「市外の会場に行って直接観た」は15.1%

(イ) 「観戦していない」は17.5%でした。

(ウ) 「テレビで観た」と「インターネットで観た」を合わせた『テレビ・インターネットで観戦した(計)』は74.4%、「市外の会場(外国も含む)に行って直接観た」と「市内の会場に行って直接観た」を合わせた『現地で観戦した(計)』は22.2%となっています。

※「テレビで観た」、「インターネットで観た」、「市外の会場(外国も含む)に行って直接観た」、「市内の会場に行って直接観た」の回答者は重複するため、『テレビ・インターネットで観戦した(計)』『現地で観戦した(計)』の割合は、個別の割合の合計値よりも少なくなっています。

過去1年間のスポーツ観戦状況(市民)

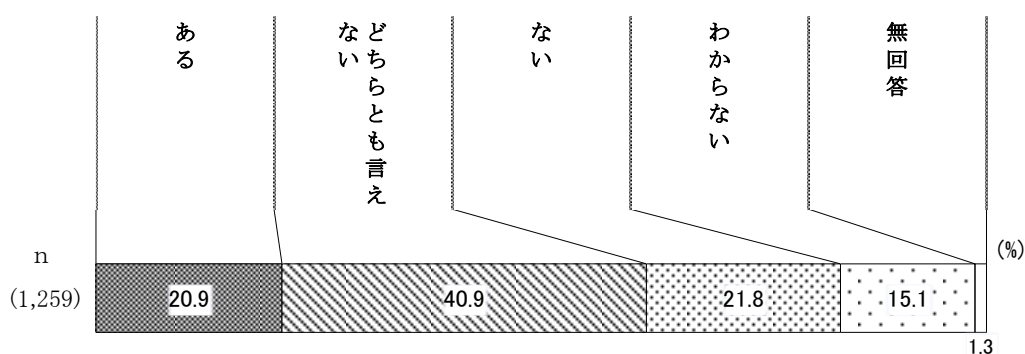


エ 障がい者スポーツについて

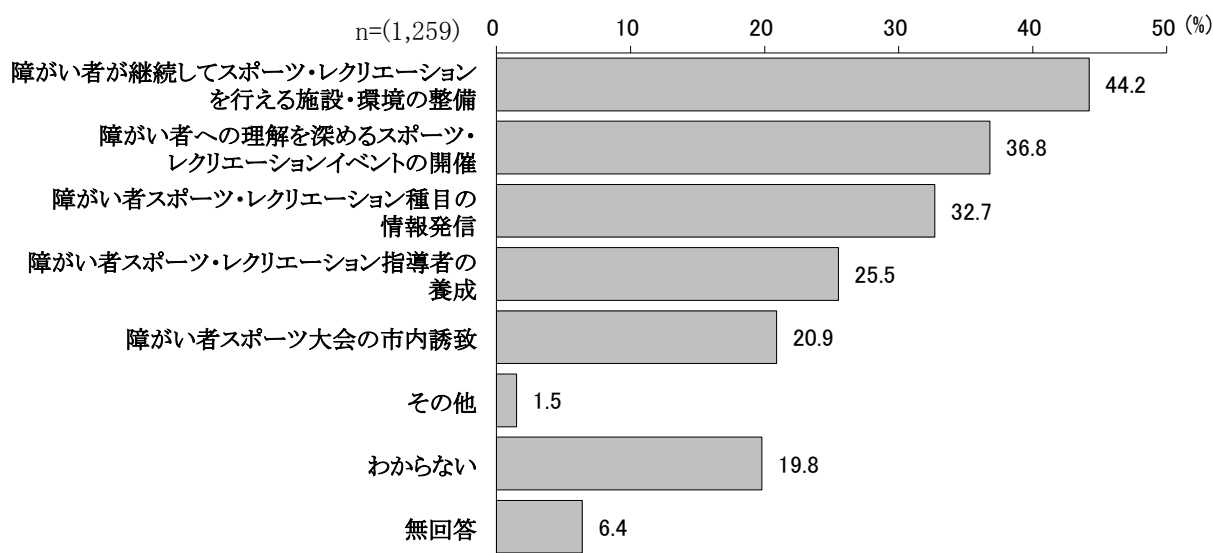
(ア) 障がい者スポーツに関心が「ある」は20.9%となっています。

(イ) 障がい者スポーツを推進するために取り組むべきことは、「障がい者が継続してスポーツ・レクリエーションを行える施設・環境の整備」が44.2%で最も多く、「障がい者への理解を深めるスポーツ・レクリエーションイベントの開催」が36.8%で続いています。

障がい者スポーツへの関心度(市民)



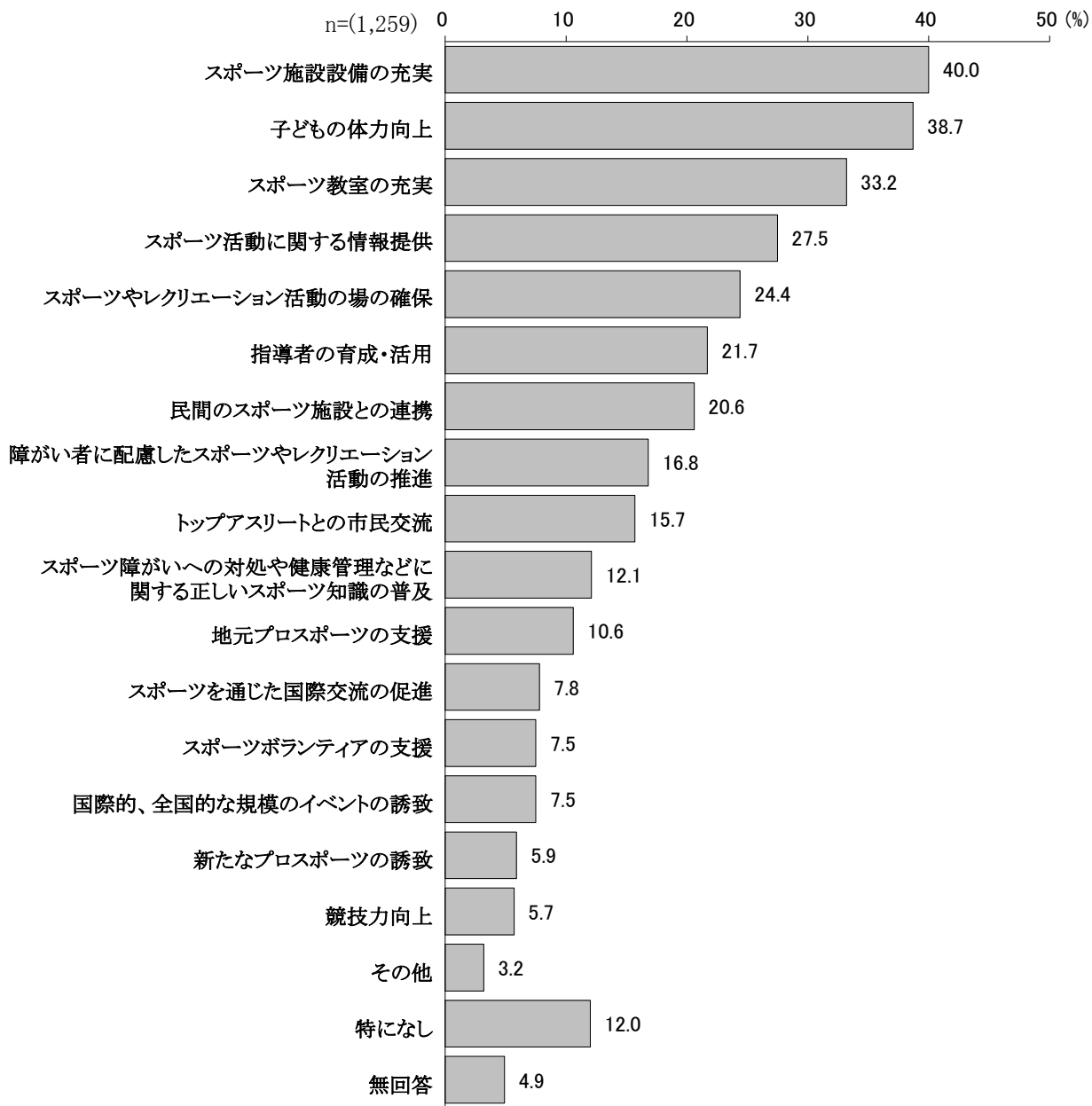
障がい者スポーツの推進のために、市が取り組むべきだと思うこと(市民)



オ スポーツ施策について

(ア) 今後市に力を入れてほしいこととして、「スポーツ施設設備の充実」が40.0%で最も多く、次いで、「子どもの体力向上」が38.7%、「スポーツ教室の充実」が33.2%となっています。

運動・スポーツをもっと振興させるために、市に力を入れてほしいこと(市民)

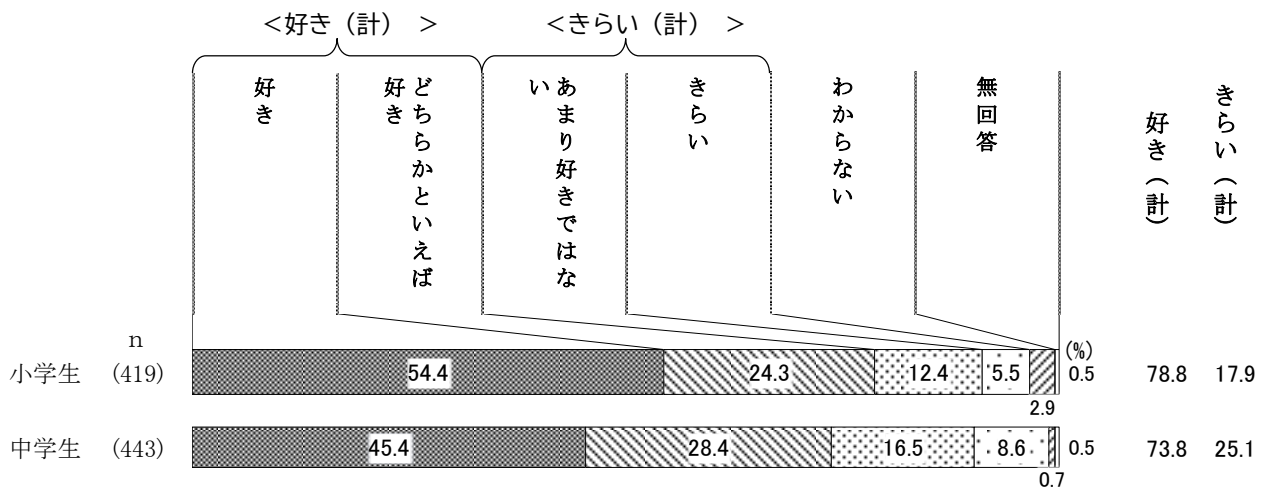


(2) 児童生徒調査（小学生・中学生のスポーツ活動の現状）

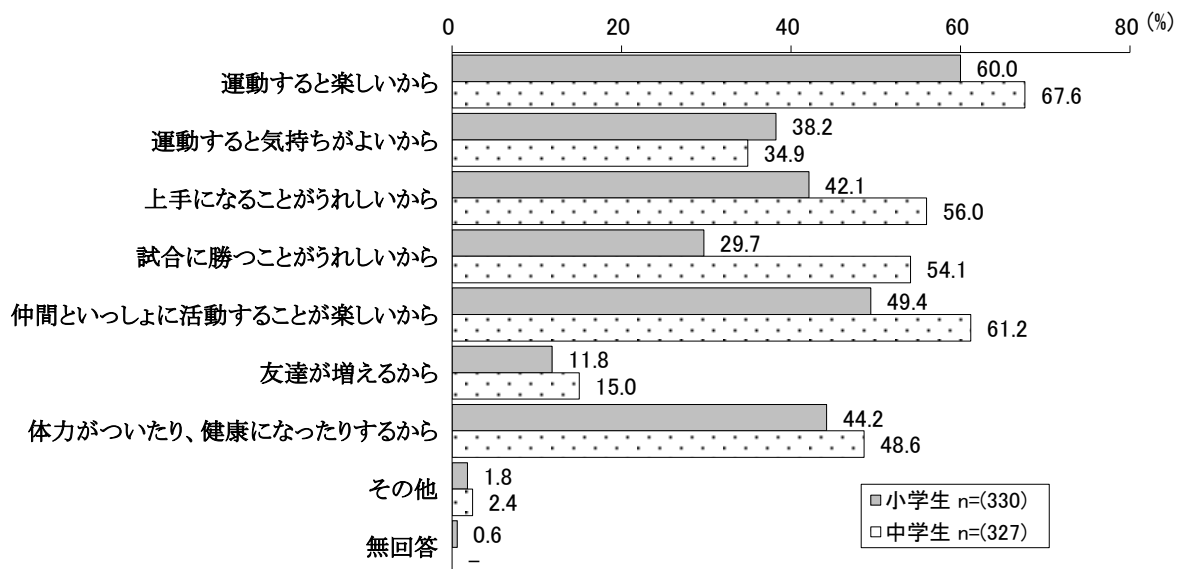
ア スポーツ実施状況について

- (ア) 「運動が好き」と回答した小学生は78.8%となっており、好きな理由としては「運動すると楽しいから」が多く挙げられています。
- (イ) 「運動が好き」と回答した中学生は73.8%となっており、好きな理由としては「運動すると楽しいから」「仲間といっしょに活動することが楽しいから」が多く挙げられています。
- (ウ) 「運動が嫌い」と回答した小学生は17.9%、中学生は25.1%となっています。
- (エ) 体育の授業のほかに、運動やスポーツをしなかった理由として、小・中学生ともに「運動が得意ではないから」が多く挙げられています。

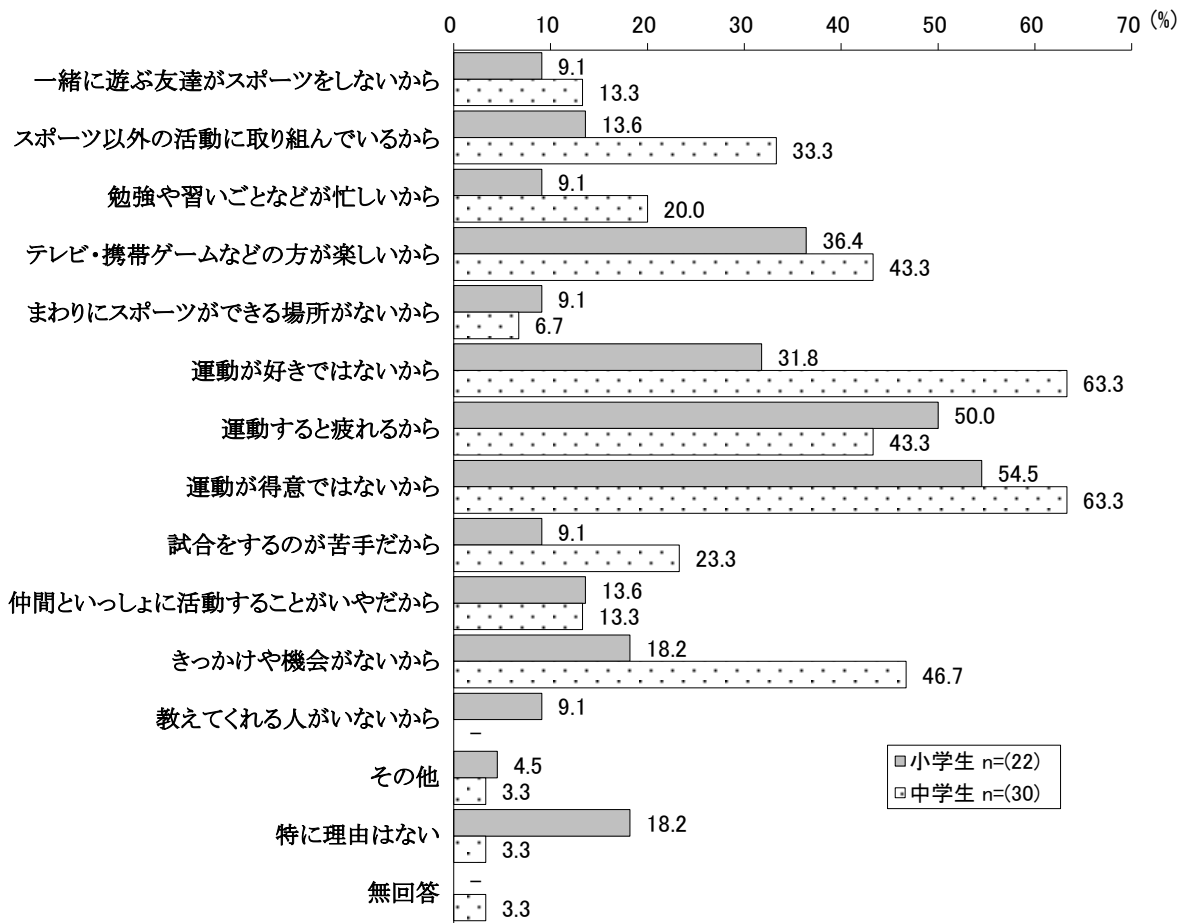
運動やスポーツをするのが好きか(小学生・中学生)



運動やスポーツが好きな理由(小学生・中学生)



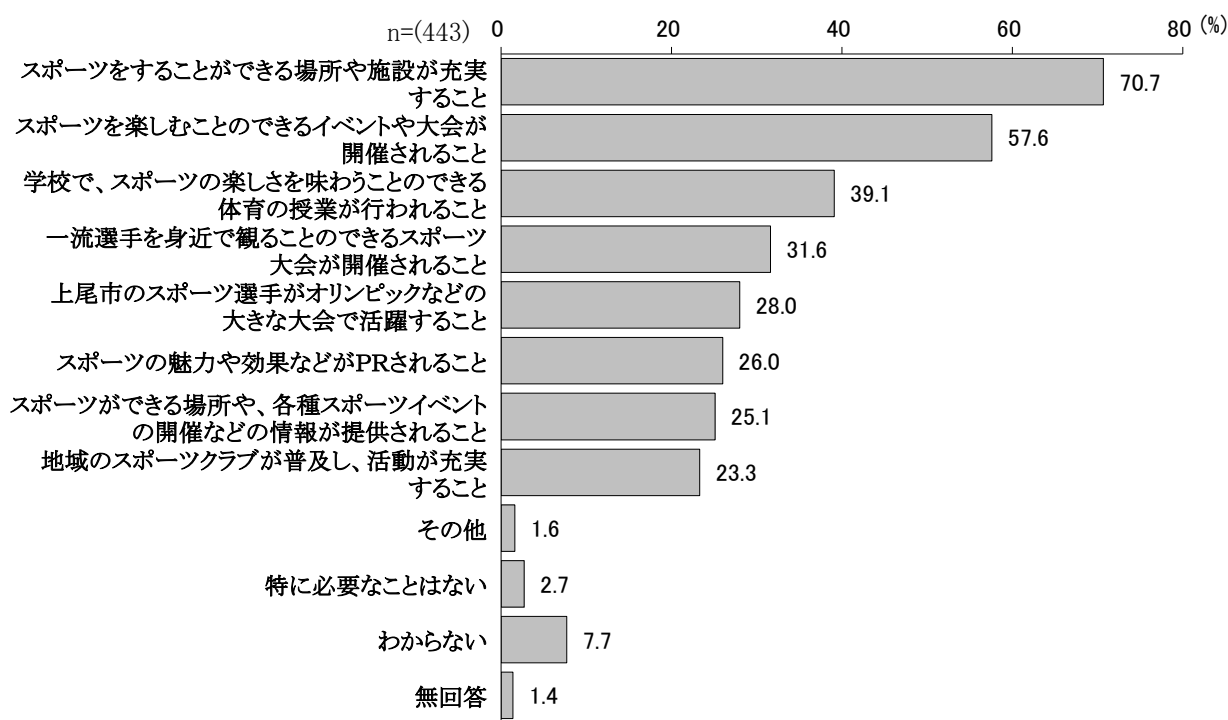
体育の授業のほかに、運動やスポーツをしなかった理由(小学生・中学生)



イ スポーツ全般について

(ア) スポーツをする人が増えるために必要なこととして、「スポーツをすることができる場所や施設が充実すること」が70.7%で最も多く、次いで、「スポーツを楽しむことのできるイベントや大会が開催されること」が57.6%、「学校で、スポーツの楽しさを味わうことのできる体育の授業が行われること」が39.1%となっています。

スポーツをする人が増えるために必要だと思うこと(中学生)

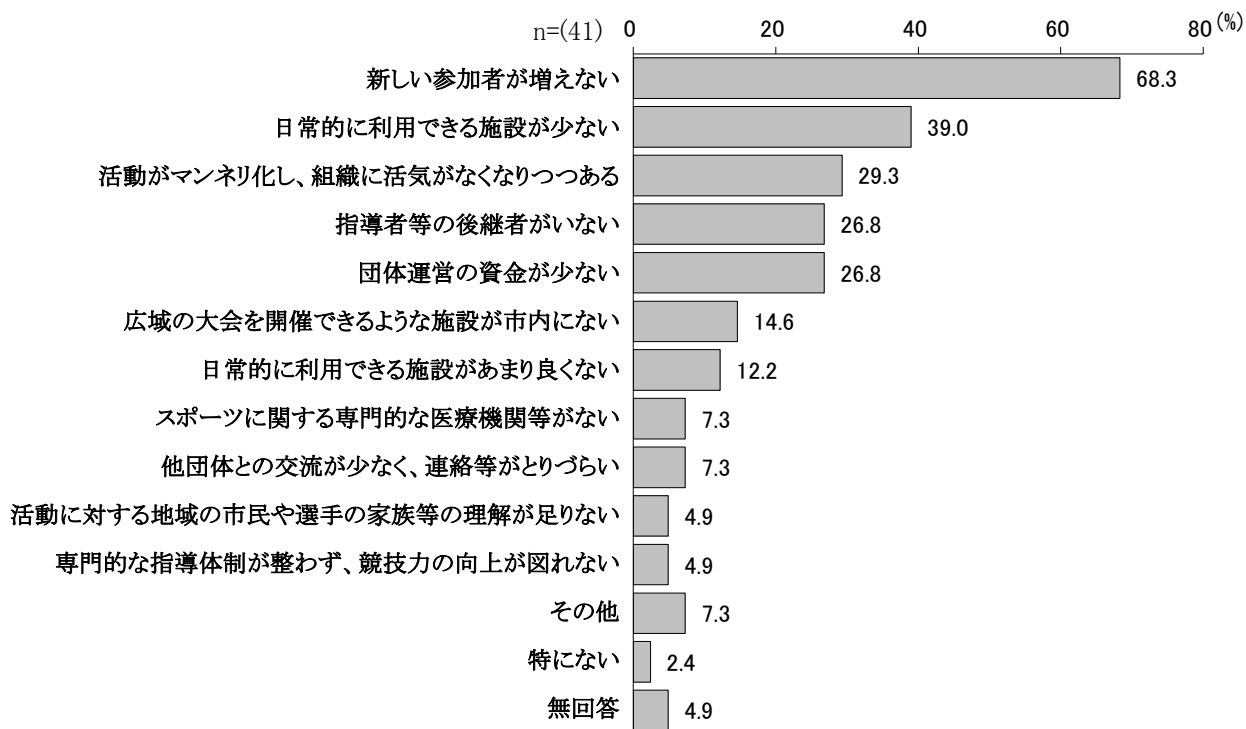


(3) 団体調査（市内で活動する団体のスポーツ活動の現状）

ア 団体の活動状況について

(ア) 活動をする上での不都合や問題点として、「新しい参加者が増えない」が 68.3%で最も多く、次いで、「日常的に利用できる施設が少ない」が 39.0%となっています。

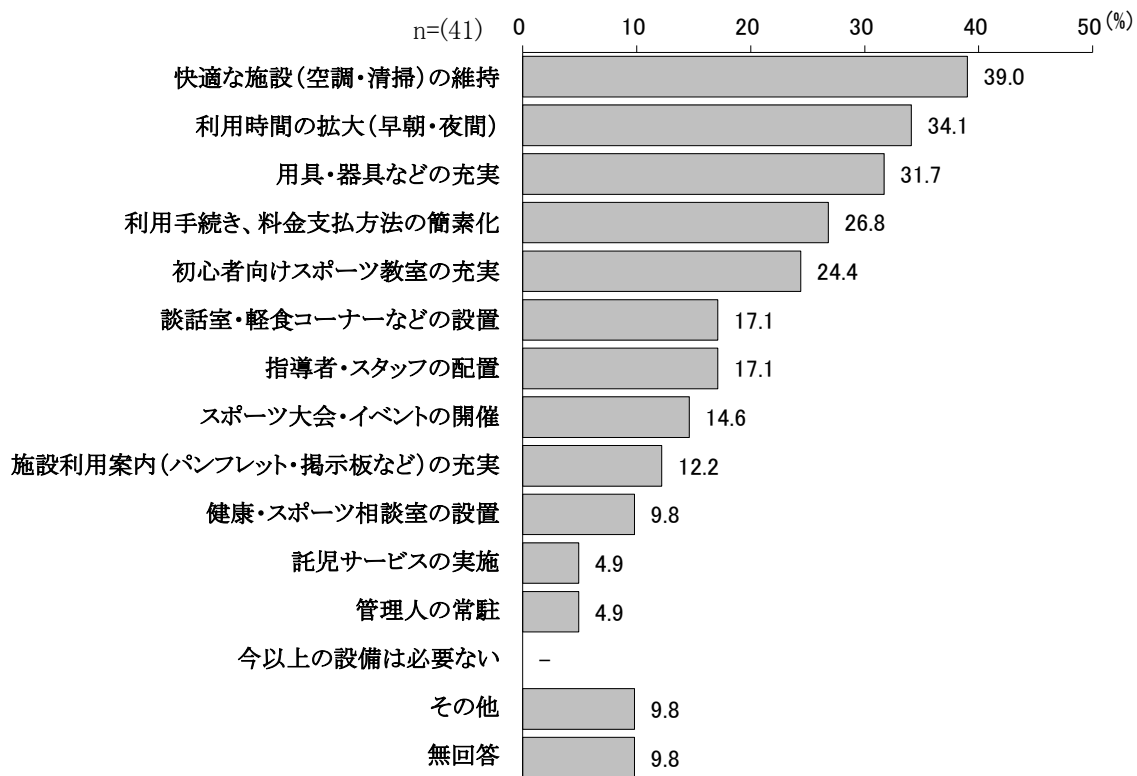
活動をする上で不都合や問題点(団体)



イ スポーツ施設について

(ア) 公共スポーツ施設に必要なことでは、「快適な施設（空調・清掃）の維持」が39.0%で最も多く、次いで「利用時間の拡大（早朝・夜間）」が34.1%、「用具・器具などの充実」が31.7%となっています。

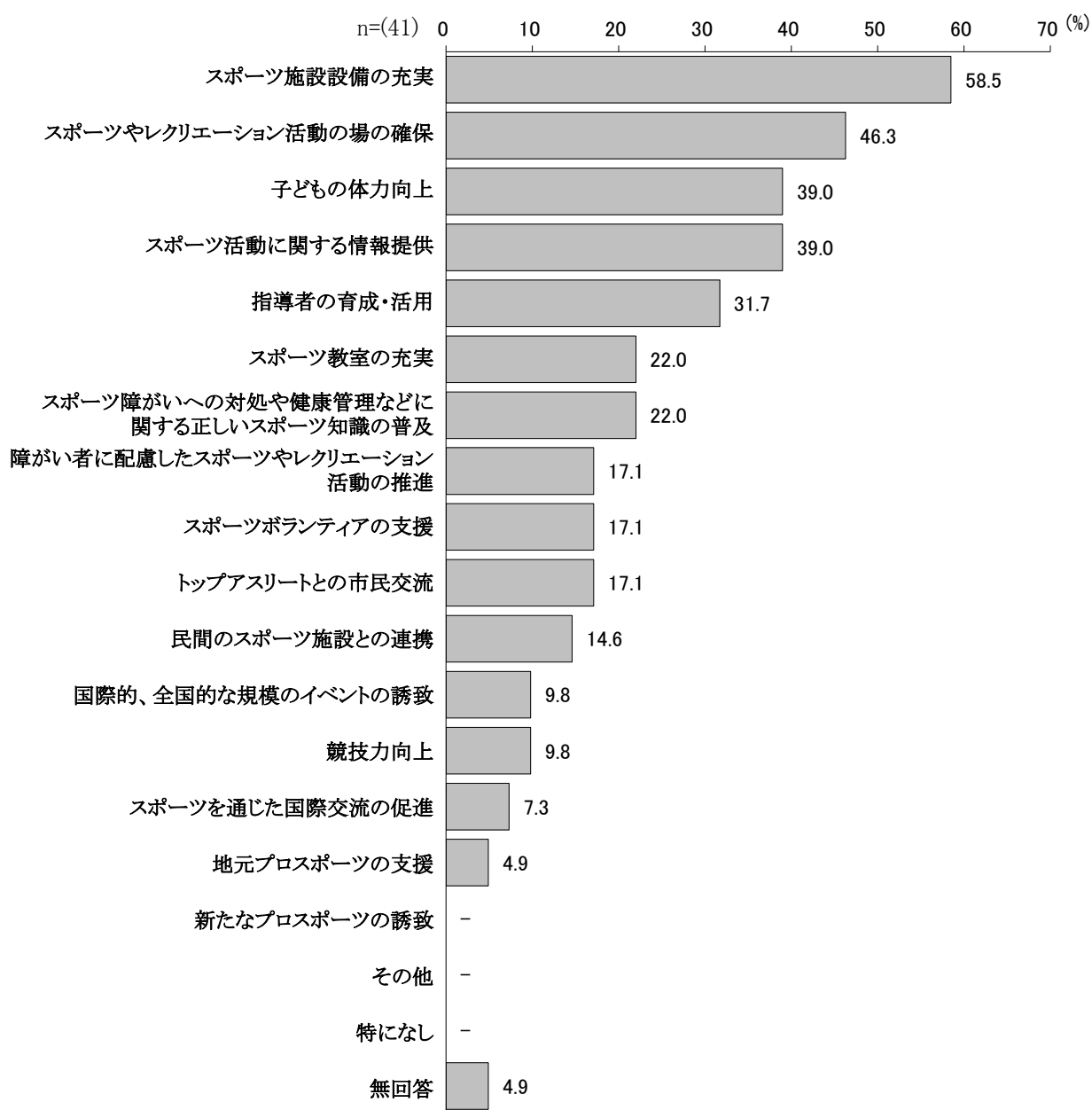
公共スポーツ施設を充実させるために必要なこと(団体)



ウ 市のスポーツ推進計画について

(ア) 今後市に力を入れてほしいこととして、「スポーツ施設設備の充実」が58.5%で最も多く、次いで「スポーツやレクリエーション活動の場の確保」が46.3%、「子どもの体力向上」「スポーツ活動に関する情報提供」が39.0%となっています。

運動・スポーツをもっと振興させるために、市に力を入れてほしいこと(団体)



4 第1期計画のまとめ

第1期計画では、基本理念の基に5つの基本目標を設定し、それに伴う24の事業を実施してきました。また、子どものスポーツに係る数値目標を設定しました。

ここでは、第1期計画期間の事業実施状況や数値目標の達成状況をもとに、成果や課題をとりまとめます。

【第1期計画の施策の実施状況まとめ】

基本目標	項目	実施状況					事業数
		5	4	3	2	1	
1	スポーツ施設の整備・充実	-	3	1	-	-	4
2	スポーツ事業の充実	-	6	3	1	-	10
3	スポーツ指導者の育成	-	1	1	-	1	3
4	スポーツ活動の支援	-	1	1	1	-	3
5	学校体育と運動部活動の充実	-	4	-	-	-	4
計		-	15	6	2	1	24
		-	62.5%	25.0%	8.3%	4.2%	

※実施状況の説明

評価	判断基準
5	十分
4	ある程度十分
3	あまり十分でない
2	不十分
1	未実施

事業の実施状況においては評価のあった全24事業中、「ある程度十分」に実施した事業は15事業（62.5%）、「あまり十分でない」事業は6事業（25.0%）、「不十分」な事業は2事業（8.3%）、「未実施」は1事業（4.2%）となっています。

【第1期計画の総括】

幅広い年代の方がスポーツに取り組めるよう、老朽化した施設の整備やさまざまなスポーツ事業の充実に努めてきました。

今後も、年代や障がいの有無を問わず誰もがスポーツを楽しめる環境や機会を整備することが重要となります。

基本目標1：スポーツ施設の整備・充実

平方野球場の買収を滞りなく行い、平塚サッカー場については平成31(2019)年度に改修工事（人工芝）を行いました。また、市民体育館については必要に応じて修繕等を迅速に対応してきました。

今後は、既存施設を有効活用し、学校開放施設などで修繕が必要となってくるところに対しては計画的に進めていきます。

基本目標2：スポーツ事業の充実

スポーツ事業については、さまざまな年代の方のニーズに応えられるように、内容を検討しながら実施してきました。スポーツ推進委員主催の事業では、幅広い年代が取り組めるようニュースポーツの普及を含めた教室を開催しました。

今後も、時代や年代にあわせた内容を検討して、市民の誰もがスポーツを楽しめるように働きかけていきます。

基本目標3：スポーツ指導者の育成

スポーツ協会主催のスポーツ講演会などを通じて指導者の育成や指導力の向上を行ってきました。今後も、市民の誰もがスポーツを楽しく安全に行えるよう、指導者の指導力育成に努めます。

基本目標4：スポーツ活動の支援

毎年多くの子どもたちが上尾市小学生ドッジボール大会に参加しています。平成28(2016)年度まで実施されていた上尾市なわとび大会については、小学1年生から中学3年生までの児童・生徒の運動習慣作りに大いに貢献しました。また、中学生バレーボール教室については、実業団選手やコーチと触れ合う中で、競技に対する取組に大きな向上がみられました。

今後は、スポーツを通じた世代間交流が行える環境づくりを支援するとともに、子どもの体力向上に向けた事業への参加啓発を進めていきます。

基本目標5：学校体育と運動部活動の充実

市内の小・中学校における体育科・保健体育科の授業では、運動量を確保した授業実践や友達との学び合いを充実させた授業など、工夫ある取組を続けてきました。また、体育主任会議や県が実施する講習会を通じて、教員や部活動指導者の指導力向上に努めてきました。

今後は、新学習指導要領に合わせ、これまで以上に体育科・保健体育科授業の充実に努めます。また教員向けの研修会については実施方法を工夫し充実した研修となるよう努め、部活動指導者については県が実施する講習会への積極的な参加を進めていきます。

【第1期計画の数値目標まとめ】

目標指標		計画開始時 (平成26(2014) 年度)	計画終了時 ^{※2} (平成31(2019) 年度)	目標値
新体力テストの総合評価 が「A」「B」「C」の児童 生徒の割合 ^{※1}	小学生	78.5%	81.9%	83%以上
	中学生	86.1%	85.8%	87%以上

※1：中間時と計画終了時の数値は埼玉県「埼玉県児童生徒の新体力テスト」による上尾市の数値（それぞれのテスト項目の成績を年齢及び性別ごとに区分した項目別得点表に当てはめ、1点から10点の10段階で点数化します。次にそれらの8項目の合計点を年齢別の総合評価基準表に当てはめ、AからEの5段階で総合評価し、平均的な水準である「C」評価までの生徒の割合を目標指標とします。）

※2：第1期計画の終了年は令和2(2020)年度だが、コロナ感染症の影響により令和2(2020)年度に「埼玉県児童生徒の新体力テスト」を行わなかったため、平成31(2019)年度を最終年度としています。

計画開始時と計画終了時を比較すると、小学生の新体力テストの総合評価「A」「B」「C」の割合は上昇しましたが、中学生はわずかに低下しました。また、平成31(2019)年度はどちらも目標値を達成することはできませんでした（ただし、中学生は平成28～29(2018～2019)年度では達成しています）。児童・生徒がより運動に親しみを持ち、積極的に取り組めるよう支援していく方法を今後とも検討する必要があります。

5 アンケート結果などに基づく課題の整理

アンケートの調査結果などをもとに、今後取り組むべきスポーツ施策の課題について以下のよう
にまとめました。

スポーツ環境の整備

- (1)市民のアンケートでは、運動やスポーツを行った場所として道路や遊歩道また公園などの共用スペースが多く挙げられています。生活に身近な場所を活用して、市民が安心・安全に運動・スポーツができる環境づくりが重要です。
- (2)市民、子ども、団体のアンケートで、市の運動・スポーツを進行させるために市が力を入れるべきこととして、いずれも「スポーツをする施設や環境の充実」が多く挙げられています。新規のスポーツ施設の建築は見込めない状況ですが、既存施設を有効活用できるよう、メンテナンスの充実などを検討していく必要があります。

市民のスポーツに対する意識

- (1)運動・スポーツを週1日以上実施した人の割合(スポーツ実施率)のうち、50歳以下の実施率が全体の割合(61.7%)を下回っています。その多くがスポーツをしなかった理由として、仕事・家事・育児の忙しさが特に多く挙げられており、ライフステージ上の変化に伴う時間的な制約がスポーツを実施できない一因になっていることが考えられます。
- (2)40代未満の女性はスポーツ実施の理由として「体力の維持や健康のため」を挙げる割合が他の年代と比較して低いことから、加齢などによる健康不安が顕在化しておらず、運動・スポーツの積極的な動機付けにも乏しいと考えられます。
- (3)健康面から考えると運動・スポーツを習慣化していくことは重要であり、またスポーツを通じた精神的な充足感の獲得など、心の健康の増進・保持も図られることから、忙しい人やスポーツに関心がない市民に対しても、各々のライフステージに合わせた運動・スポーツを始めるきっかけづくりを提供することが重要です。

スポーツを通じた共生社会の実現

- (1)障がい者スポーツに関心がある18歳以上の市民はわずか2割となっています。多様性を認め合う共生社会の実現に向けて、障がい者スポーツへのさらなる理解促進が重要となります。
- (2)スポーツに関するボランティア活動を行ったことがない市民は9割以上となっています。スポーツを支える視点から関心を喚起する取組が重要です。

地域におけるスポーツ活動

- (1)スポーツの楽しみ方を指導し、興味・関心をわかせるような指導者が求められています。スポーツを支える人材の育成が重要です。
- (2)近年、各スポーツ関係団体の指導者や団体運営に携わる方の高齢化や後継者不足により、市民のスポーツ活動を継続的に支えることが厳しくなってくると見込まれます。新たな後継者やスポーツを「支える」人材の発掘、育成が求められています。

子どものスポーツ活動

- (1)子どもの体力は低下しており、将来的には国民全体の体力低下につながり、社会全体の活力が失われる事態が危惧されます。
- (2)スポーツは、健全な子どもたちの育成に役立っているものですが、現状では、子どもたちにとってスポーツの定義が「スポーツ＝競技性の強いスポーツ(運動部活動)」と狭いことが考えられ、競技スポーツが苦手な子どものスポーツ離れの一因と考えられます。
- (3)子どもが学校や運動部活動以外にもスポーツを楽しみ、親しめる機会を提供することが重要です。

第3章 具体的な施策展開

1 計画の基本的な考え方

(1) 基本理念

市のスポーツを取り巻く現状と課題を踏まえ、基本理念を以下のように掲げます。

～健康で活力に満ちたスポーツ活動の推進～

市ではこれまで、スポーツを通じた心身の健康や体力向上及びそれぞれの夢の実現を目指してきました。さらに、スポーツを「する」機会だけでなく、「みる」「ささえる」機会を提供することにより、市民の誰もがスポーツに親しめる環境整備に取り組んできました。

近年、少子高齢化など、社会を取り巻く環境が大きく変化している中で、スポーツには「共生社会の実現」や「地域の活性化」といった効果があると期待されています。また、令和2(2020)年には新型コロナウイルス感染拡大により、緊急事態宣言が発令されました。学校は休校となり、職場ではテレワーク中心の生活が始まるなど、生活が一転しました。社会活動はもとより、スポーツ界にも大打撃を与えていますが、このような時期だからこそ、心身の健康に不可欠なコンテンツである「スポーツ」の価値が再認識されるものと考えます。本計画では「疾病に対する対策」として、関係各課と連携を取りながら別途対策案を作成し、スポーツの新たな在り方を考えながら、市民のスポーツ活動推進に取り組んでいきます。



本計画では、第1期計画の考え方を引き継ぎ、「健康で活力に満ちたスポーツ活動の推進」を基本理念とし、実現に向けて取り組んでいきます。また、上記のような近年の社会情勢やアンケート結果を踏まえ、課題解決に向けて新たな目標を掲げ、今後の市のスポーツ施策を推進していきます。

(2) 持続可能な社会に向けた動き

地球温暖化や生物多様性の喪失、人口減少・少子高齢化など、世界が大きく変化し続けている中で、これまでの大量生産・大量消費型経済を継続することが困難とみられています。このような中、自然環境と共生し、従来とは異なる文化的・精神的豊かさを実現できる持続可能な社会モデルへの転換を求める動きが強まっています。

平成27(2015)年に国際連合は17のゴールと169の具体的なターゲットから成る「持続可能な開発目標 (SDGs)」を定めました。そのうち、目標3では「あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する」、目標4では「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」ことが謳われています。本計画ではこの目標に沿った事業を推進します。



<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> <p>あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに</p> 	<p>4 質の高い教育をみんなに</p> <p>すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する</p>
--	---	---	--

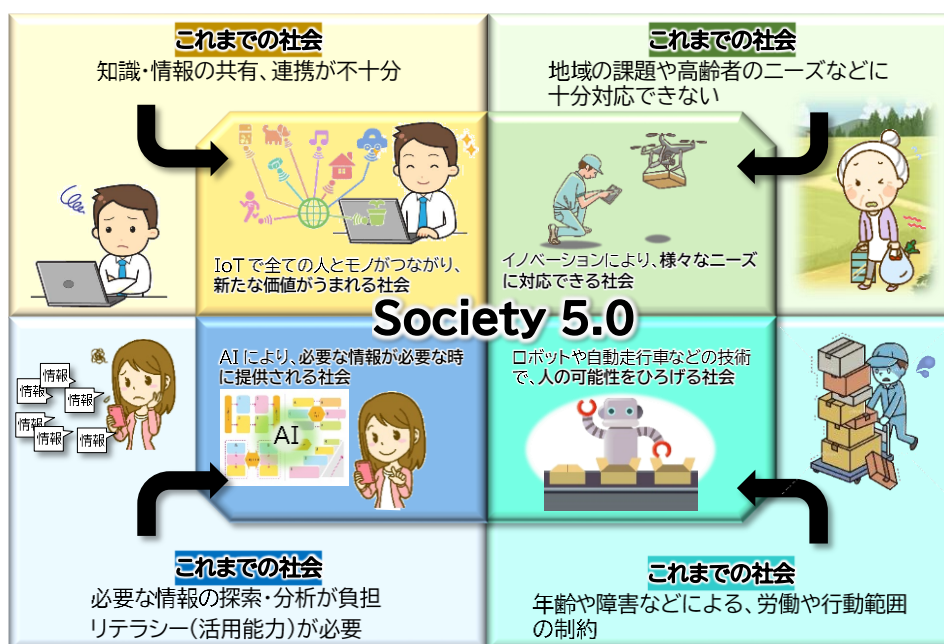
(3) 技術革新の進展

近年、ICT（情報通信技術）や、AI（人工知能）、IoT（モノがインターネットとつながる仕組み）、ビッグデータ（インターネット上に蓄積される膨大なデータ）などの進展により、わが国は大きな社会変革に差し掛かっています。

国では、狩猟社会（Society1.0）、農耕社会（Society2.0）、工業社会（Society3.0）、情報社会（Society4.0）、に続く新たな社会を目指すものとして、「Society5.0」を提唱しました。「サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会」です。

これをスポーツ活動の分野に応用できるとすれば、トップアスリートのようにスポーツ分野において世界的な活躍を目指す人から、介護予防のためにスポーツを行う高齢者まで、一人ひとりに適した形態でのスポーツの実施や指導を推奨することが可能になると言われています。また、ICTやデータ活用などによる施設の維持管理・更新を効率化していくとともに、これまでのスポーツ施設の在り方にとらわれないスポーツ実施のための環境整備にもつながると考えられています。

市民一人ひとりが豊かな暮らしを送ることができる社会を実現するために、本計画ではすべての市民が自身のスポーツ活動を継続できるよう、さまざまな角度からの支援を行う体制を整備していきます。



参考：内閣府「Society5.0」

2 施策の体系

<基本理念>

<基本目標>

<施策>

健康で活力に満ちたスポーツ活動の推進

1

誰もがスポーツを楽しめる環境の充実

(1) スポーツ施設の整備と効率的な管理運営

(2) 学校開放施設の整備

2

誰もがスポーツを楽しめる機会の充実

(1) 各種スポーツ大会の開催

(2) スポーツにふれあう機会の創出

(3) 「観るスポーツ」の機会の提供

(4) スポーツ情報の提供

(5) 共生社会の実現

3

地域におけるスポーツ活動の活性化の推進

(1) スポーツ推進委員の活動支援

(2) スポーツ指導者の育成支援

(3) スポーツ団体の活動支援

4

子どものスポーツ活動の充実

(1) 子どものスポーツ機会の充実

(2) 体育・保健体育授業の充実

(3) 運動部活動の充実

3 施策の展開

基本目標

1

誰もがスポーツを楽しめる環境の充実



(1) スポーツ施設の整備と効率的な管理運営

多様な市民のニーズに対応するとともに、生涯にわたりスポーツに親しめるよう、スポーツ施設の整備や効率的な管理運営など、スポーツを継続的に行うための環境づくりを行います。

事業名	内容	担当課
スポーツ施設の整備	市民へのアンケート調査により、「スポーツをする施設や環境の充実」が多く挙げられています。 このため、屋外・屋内にある既存施設を有効に利用できるようにメンテナンスの充実を図り、利用時間の拡大など、市民や関係団体の意見を取り入れながら、幅広い世代の市民がより安全・安心に利用できるスポーツ施設の在り方を検討し、環境整備を図ります。	スポーツ振興課

(2) 学校開放施設の整備

スポーツ施設以外でも、身近なスポーツ活動の拠点として、学校開放施設の有効利用を推進していき、より身近な場所でスポーツに親しめる環境を充実させていきます。

事業名	内容	担当課
学校開放施設の整備	学校開放施設については、各学校に「学校施設開放運営委員会」が組織されており、施設の管理・運営を行っています。身近なスポーツ活動の拠点として、施設の有効利用をさらに推進します。 そのため、老朽化している学校開放用トイレ・倉庫などの施設の建て替えや修繕を計画的に進め、より良い地域スポーツ活動が行える環境作りを行います。	スポーツ振興課

(1) 各種スポーツ大会の開催

誰もが参加できる各種スポーツ大会を開催できるよう働きかけます。

事業名	内容	担当課
スポーツ協会支部や加盟団体、スポーツ推進委員などによる各種大会の開催	<p>上尾市スポーツ協会支部や加盟団体では、「地区体育祭」や「競技別各種大会」などを実施しています。</p> <p>今後は各競技団体と連携し、時代や年代に合わせた競技内容を検討するなど引き続き多くの市民が参加できるよう努めます。</p>	スポーツ振興課
ボランティアの活用と育成	<p>上尾シティハーフマラソン、市民体育祭や市民駅伝などは、多くの市民ボランティアに支えられています。こうした多くの市民ボランティアによる「支えるスポーツ」は新たなスポーツ振興の一つの形となることから、ボランティアの積極的な活用を図るとともに、各種イベントなどにおいてボランティアの体験をする機会を設け、ボランティアの育成を図ります。市民アンケート結果より、「ボランティア活動を行ったことがない」との回答が9割以上だった事を踏まえ、広くボランティアを募りながら参加を喚起すると同時に、上尾市全体のPRを図るよう取り組み、地域の活性化を図ります。</p>	スポーツ振興課
各種大会の効率的な運営と参加者層の拡大	<p>上尾シティハーフマラソンなどの各種スポーツ大会は、毎年多くのボランティアの協力を得て、市民のスポーツ活動の場として定着しています。今後は「スポーツを楽しむことができるイベントや大会が開催されること」に対する市民のニーズが高いことを踏まえ、各種大会などの開催については時代に即した内容を検討し、より多くの市民へ参加の機会を提供します。</p> <p>また、障がい者の健康増進、社会参加の促進や障がい者に対する市民の理解を促進するために、障がい者が広くスポーツに参加できる機会の確保と環境づくりの推進を図ります。</p>	スポーツ振興課

事業名	内容	担当課
いきいきクラブ各種スポーツ大会	高齢者がスポーツを通して親睦を深め、体力の維持・増進を図るとともに、健康で明るい生活を送れるよう各種大会を支援していきます。	高齢介護課

(2) スポーツにふれあう機会の創出

市民それぞれのライフステージや身体の状態に応じたスポーツ活動を推進していきます。

事業名	内容	担当課
スポーツ協会支部や団体、スポーツ推進委員などによる教室の開催	<p>上尾市スポーツ協会では、「いきいき推進事業」などの地域の交流と体力づくりなどを目的に各種教室を開催しています。</p> <p>また、スポーツ推進委員は、地域住民を対象にミニバレーなどのニュースポーツをはじめ、ドッジボール大会など各種スポーツの普及に取り組んでいます。</p> <p>市民アンケート結果により、個人で実施可能な種目にニーズが高まっていることから、今後はさまざまなニーズに対応した地域スポーツ教室の充実を検討し、各種スポーツ事業を関係団体や地域自治会などと協力・支援していきます。</p>	スポーツ振興課
指定管理者によるスポーツ事業・教室の開催	<p>指定管理者が市民体育館管理運営を行っていることにより、日頃からスポーツに親しむ機会の少ない市民を対象に体力相談室兼トレーニング室で器具を使った教室や軽スポーツ教室を実施します。さまざまな年代の人が参加しやすい時間帯で教室を開催することにより、スポーツの普及に取り組みます。</p>	スポーツ振興課
市内施設の機能拡充	<p>市民が個々の体力や適性に応じたスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会の拡充に努めます。</p>	スポーツ振興課
都市公園の指定管理業務における提案事業による教室等の開催	<p>上平公園においてテニス教室、ランニング教室、サッカー教室など、戸崎公園においてパークゴルフ教室を開催し、市民がスポーツにふれあう機会を創出します。</p> <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランニング教室 ・ハートフルサッカー教室（浦和レッズ） ・テニス教室 など 	みどり公園課

事業名	内容	担当課
一般介護予防事業	住民主体による、転倒予防や体力づくりを目的とした介護予防体操等を行っています。	高齢介護課
埼玉県コバトン健康マイレージ	県が実施している「埼玉県コバトン健康マイレージ」事業は、専用のスマートフォンアプリや専用歩数計を使ってウォーキングを楽しく行い、健康づくりを進めていく事業です（市の参加対象者は、市内在住で18歳以上の人）。歩数などに応じて、県や市からの賞品の抽選に参加できます。また、市では本事業と連動してウォーキングや筋力アップなどの各種運動講座を実施し、市民が楽しく継続した健康づくりができるように努めています。	健康増進課

(3)「観るスポーツ」の機会の提供

スポーツ観戦の手段は多様化していますが、実際に会場で観戦することで臨場感や一体感を味わうことができるなど、スポーツの楽しさを肌で感じることができます。そのため、市内での競技大会の開催による観戦機会の充実及び観戦機運の醸成を図ります。また、市民が出場する全国大会の情報提供を行います。

事業名	内容	担当課
「観るスポーツ」の機会の提供	<p>市内におけるスポーツの全国大会などの開催は、市民がプロスポーツや実業団などのトップレベルの競技を実感することによって、スポーツに親しむ人が増加するとともに、「観るスポーツ」の場を広げることで、市民のスポーツ参加意欲を高めます。また、市の魅力を多くの人々に情報発信する貴重な機会となります。</p> <p>また、他県から選手や関係者、観戦者が訪れることにより、直接的・間接的な経済効果も期待できます。</p> <p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校野球 ・プロ野球イースタンリーグ ・ベースボール・チャレンジ・リーグ（BCリーグ） ・Vリーグ（バレーボール） <p style="text-align: right;">など</p>	<p>広報広聴課 スポーツ振興課 みどり公園課</p>

(4) スポーツ情報の提供

市民の誰もがスポーツに親しむことができるよう、市のホームページなど多様な媒体・手段を活用してスポーツに関する情報を提供していきます。

事業名	内容	担当課
市ホームページなどを活用したスポーツ施設の案内やイベント情報の発信	インターネット上に生涯スポーツに関するホームページを開設し、市民体育館や運動場などスポーツ施設の情報、スポーツイベントやスポーツ教室、スポーツ団体や指導者の情報を提供していきます。	スポーツ振興課
体育館や公民館などで活動するスポーツサークルの紹介	市民が参加を希望するスポーツを把握し、スポーツに接する機会を増やすため、市民体育館や公民館などを利用している市民や団体などからの情報の提供を受け、情報の発信ができる体制を整え、広報誌に掲載して周知を図るとともに、情報提供の充実に努めます。	スポーツ振興課

(5) 共生社会の実現

障がいの有無を問わず、互いを理解して尊重し合う共生社会の実現を目指し、障がい者スポーツの関心度向上や触れ合う機会を創出していきます。

事業名	内容	担当課
健常者と障がい者の交流事業	上尾市ふれあい広場は、障がいを持つ人たちの自立と障がい者への理解と促進、市民の方々とのふれあいを図ることを目的に開催しています。障がい者スポーツの体験コーナーなど(※)を通じて、障がい者と市民との交流を継続してまいります。 ※ボッチャ 太鼓体験 デコレーション卓球 障がい者ボウリングなど	障害福祉課

(1) スポーツ推進委員の活動支援

市のスポーツ推進を支えるスポーツ推進委員の更なる資質向上を図ります。

事業名	内容	担当課
スポーツ推進委員の研修会等の開催	<p>スポーツ推進委員は、スポーツ推進のための連絡調整や地域スポーツのコーディネート、専門性を活かしたスポーツ指導など生涯スポーツ社会実現のために活動しています。地域スポーツを支えるスポーツ推進委員が更なる資質向上を図るために、国・県などの主催する研修会や自主研修などへの参加を支援します。</p> <p>また、今後は幅広い世代に向けたニュースポーツの普及に取り組めます。</p>	スポーツ振興課

(2) スポーツ指導者の育成支援

多様化する市民のスポーツニーズに対応するため、スポーツ活動の担い手となる指導者の育成に努めます。

事業名	内容	担当課
スポーツ協会と連携したスポーツ講演会・講座等の開催	<p>指導者の専門性や資質の向上を図るため、さまざまな分野の指導者情報を収集・提供するとともに、指導に関する情報交換を行うなど各スポーツ関係団体と連携し、指導者養成講習会や技術研修会などの充実を図ります。</p> <p>また、生涯スポーツに関する正しい知識の普及を目指します。</p>	スポーツ振興課

(3) スポーツ団体の活動支援

市民へのスポーツ振興の中心的な役割を担えるよう、市内で活動するスポーツ団体の活動支援を行います。

事業名	内容	担当課
スポーツ協会への活動支援	市のスポーツ推進を図る上での重要なパートナーとして、スポーツ協会組織の基盤強化及び活動の充実に向けての事業補助を行い、また市と同協会が協働し、より一層の市民へのスポーツ振興の中心的な役割を担えるよう、支援及び自主自立の運営ができる体制づくりを図ります。	スポーツ振興課
総合型地域スポーツクラブの育成・支援	誰もが生涯にわたりスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現するために、多世代、多様な技術・技能レベルに属し、多様な興味・関心を有する者が参加できる総合的地域スポーツクラブの育成・支援を行います。 また、広報活動など検討し、総合型スポーツクラブの育成に関する情報提供を行い、スポーツを通して世代間交流が行える環境づくりを推進します。	スポーツ振興課



(1) 子どものスポーツ機会の充実

子どもの体力向上に向けて、上尾市子どもの体力向上地域連携協議会を設置します。

事業名	内容	担当課
子どもの体力向上地域連携事業の充実	<p>子どもの体力向上の実態を把握するとともに、子どもの体力向上に向けた地域連携に関する事項を協議するため、上尾市子どもの体力向上地域連携協議会を設置し、子どもの体力向上地域連携事業を実施します。</p> <p>この事業は、外遊びを通じて子どもに日々の運動をする習慣をつけるため、スポーツ推進委員による小学生を対象にしたドッジボール大会や市内の実業団チームの協力を得て、中学生を対象としたバレーボール教室を開催しています。また、スポーツの裾野拡大と子どものスポーツ機会の充実を図るためにスポーツ少年団と連携します。</p> <p>今後も関係機関・団体と連携を図り、子どもたちが遊びを通じ、日常的に運動を行えるような事業の充実を図ります。</p>	指導課
児童生徒体力向上推進事業	<p>市立小・中学校の児童生徒の体力向上を図り、心身ともに健やかでたくましい人づくりを目指しています。上尾市中学校体育連盟の学校総合体育大会及び県民体育大会兼新人体育大会の市内予選会や中学校バレーボール教室、小学校体育連盟の陸上競技大会などの実施を通して、児童生徒の体力向上を目指しています。</p>	指導課
中学校部活動支援事業	<p>部活動の充実及び活性化、生徒の意欲の向上と技能の向上を図るとともに、生涯スポーツ・文化に親しむ習慣の基礎を養うために、部活動指導員の配置を行います。また、全国・関東大会に出場する生徒の派遣にかかる費用を負担し、保護者負担を軽減します。</p>	指導課

(2) 体育・保健体育授業の充実

現場指導者の困り感などに寄り添い、児童生徒の実態に即した授業を実施できるよう取組を進めます。

事業名	内容	担当課
児童・生徒の実態に応じた運動の取組	新学習指導要領の実施に合わせ、これまで以上に体育科・保健体育科授業の充実に努めます。また「カリキュラム・マネジメント」の視点で、各校における教育活動を見直し、教育活動全体で「体力向上」を図ることができるよう、教育課程の充実に取り組みます。	指導課
教員の指導力向上研修会等の実施	充実した体育主任会議を実施し、各校の体育科・保健体育科授業における指導の改善につなげていきます。また、現場指導者の困り感などに寄り添い、児童生徒の実態に即した授業を、指導者が自信をもって実施していくための一助となるよう、研修会の実施方法を工夫します。	指導課

(3) 運動部活動の充実

子どもの心身の健全な発達や自主的なスポーツ活動を促し、生涯にわたってスポーツに親しめるよう、運動部活動における指導の充実や研修などを行います。

事業名	内容	担当課
部活動における外部指導者等の活用	地域や学校の実情に応じた運動部活動を推進・活性化し、いきいきとした子どもの育成に努めます。 外部指導者の計画的導入によって、運動部活動の活性化に努めます。また、単独で部活動を行うことができない学校には合同で部活動を行えるよう努めます。	指導課
部活動指導者の指導力向上研修会等の実施	教育の一環である部活動の指導者は、安全かつ子どもの健全な成長に多大な影響があることから、指導力向上に努める必要があります。 このことから、部活動指導者講習会への参加を奨励するなど、指導者の資質向上を図ります。	指導課

4 数値目標

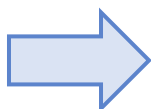
計画の基本目標に基づき、令和3(2021)年から令和7(2025)年において下記のとおり数値目標を設定し、その達成を目指します。

I

週1日以上スポーツを行う18歳以上の市民の割合

(令和2(2020)年)

61.7%



(令和7(2025)年)

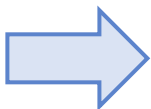
65%以上

II

年1回以上スポーツを実際に観戦する18歳以上の市民の割合

(令和2(2020)年)

22.2%



(令和7(2025)年)

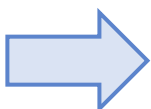
40%以上

III

スポーツに関するボランティア活動を行う市民の割合

(令和2(2020)年)

4.8%



(令和7(2025)年)

10%以上

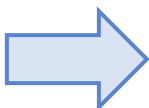
IV

新体力テストの総合評価が「A」「B」「C」の児童生徒の割合

(平成31(2019)年度)

小学生

81.9%

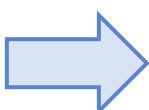


(令和7(2025)年)

85%以上

中学生

85.8%



90%以上

第4章 計画の推進

1 推進体制

本計画を推進するためには、市民、スポーツ関係団体、スポーツ指導者などのさまざまな主体の協働があってはじめて実現できるものです。

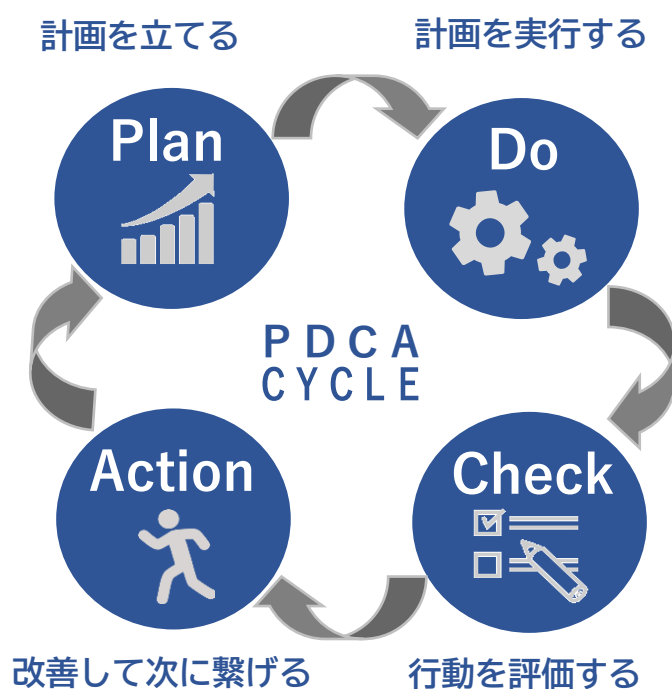
今後は、スポーツ推進委員連絡協議会、市スポーツ協会などスポーツ団体、PTAなどの地域団体、医療等機関、実業団チームと連携しながら進めていくとともに、ネットワークの形成に努め、本計画を推進していきます。

なお、本計画に基づくスポーツの推進については、国及び県、並びに社会情勢の変化なども勘案して、必要に応じて事業の見直しを行います。

2 進行管理

計画の実現のためには、計画に即した取組がスムーズに実施されるように管理するとともに、計画の進捗状況を把握し、年度ごとに実施状況及び成果を点検・評価し、検証していく必要があります。

具体的には、以下の図のようなPDCAサイクルに基づいて進捗管理を行います。



參考資料

1 上尾市スポーツ推進審議会委員名簿

第22期

選出区分	氏名	役職名等	備考
1号委員 (市議会議員)	尾花 瑛仁	市議会議員	
	戸野部直乃	市議会議員	
	井上 茂	市議会議員	
2号委員 (知識経験者)	遠山 正博	スポーツ協会副会長 (市ソフトボール協会名誉会長)	会長
	矢島 通夫	スポーツ協会副会長 (市陸上競技協会会長)	
	中村 清治	スポーツ協会理事長 (なぎなた連盟会長)	
	萩原 康彦	スポーツ推進委員連絡協議会会長	
	只隈 伸也	大東文化大学スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科教授	
3号委員 (市内のスポーツ団体の代表)	林 貞次	剣道連盟会長	
	山下 文孝	ソフトボール協会会長	
	伊東 幸恵	家庭婦人バレーボール連盟副会長	
	小板橋英雄	スポーツ少年団本部長	
	辻 三枝子	フォークダンス連盟会長	
	松本 壽男	小学校体育連盟会長 (平方東小学校長)	
	瀧澤 誠	中学校体育連盟会長 (上平中学校長)	副会長

第23期

選出区分	氏名	役職名等	備考
1号委員 (市議会議員)	尾花 瑛仁	市議会議員	
	戸野部直乃	市議会議員	
	井上 茂	市議会議員	
2号委員 (知識経験者)	遠山 正博	スポーツ協会副会長 (市ソフトボール協会名誉会長)	会長
	矢島 通夫	スポーツ協会副会長 (市陸上競技協会会長)	
	中村 清治	スポーツ協会理事長 (なぎなた連盟会長)	
	萩原 康彦	スポーツ推進委員連絡協議会会長	
	只隈 伸也	大東文化大学スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科教授	
3号委員 (市内のスポーツ団体の代表)	秋山 正久	バスケットボール連盟理事	
	山下 文孝	ソフトボール協会会長	
	永倉 和男	空手道連盟会長	
	桑原 明子	スポーツ少年団本部委員	
	武藤 政春	スポーツウェルネス吹矢協会理事	
	松本 壽男	小学校体育連盟会長 (平方東小学校長)	
	瀧澤 誠	中学校体育連盟会長 (上平中学校長)	副会長

2 第2期上尾市スポーツ推進計画策定の経過

日 程	会議、内容等
令和2(2020)年5月28日～ 6月5日	調査票検討（書面開催） ・アンケート調査の内容について
令和2(2020)年6月19日～ 7月17日	スポーツ推進に関する調査
令和2(2020)年8月24日	第1回上尾市スポーツ推進審議会 ・上尾市スポーツ推進計画策定に伴う意識調査結果速報および計画骨子（案）について ・令和2年度上尾市スポーツ振興事業計画について
令和2(2020)年11月25日	第2回上尾市スポーツ推進審議会 ・委嘱式、任命式 ・上尾市スポーツ推進に関する調査報告及び上尾市スポーツ推進計画（案）について
令和2(2020)年12月23日	令和2年教育委員会12月定例会 ・計画案の審議、決定
令和3(2021)年1月8日～ 2月8日	パブリックコメントの実施 ・第2期上尾市スポーツ推進計画に対する意見を募集 ⇒意見の件数：0件
令和3(2021)年3月4日	令和3年教育委員会第2回臨時会 ・計画案の協議
令和3(2021)年3月24日	令和3年教育委員会3月定例会 ・計画の審議、策定

3 上尾市スポーツ推進審議会条例

○上尾市スポーツ推進審議会条例

昭和51年9月30日条例第30号

改正

平成12年3月31日条例第2号

平成23年9月20日条例第11号

上尾市スポーツ推進審議会条例

(設置)

第1条 スポーツ基本法(平成23年法律第78号。次条において「法」という。)第31条の規定に基づき、上尾市スポーツ推進審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会は、法第35条に規定するもののほか、次に掲げるスポーツの推進に関する重要事項について調査審議する。

- (1) 法第10条第1項に規定する地方スポーツ推進計画に関すること。
- (2) スポーツの指導者その他スポーツの推進に寄与する人材の養成及び資質の向上並びにその活用に関すること。
- (3) スポーツの施設及び設備の整備及び運用の改善に関すること。
- (4) 地域におけるスポーツの振興のための事業への支援等に関すること。
- (5) スポーツ行事の実施及び奨励に関すること。
- (6) スポーツとして行われるレクリエーション活動の普及奨励に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、スポーツの推進に関すること。

(組織)

第3条 審議会は、15人以内の委員で組織する。

2 前項の規定にかかわらず、特別の事項を調査審議するため必要があるときは、審議会に臨時委員を置くことができる。

3 委員及び臨時委員は、非常勤とする。

(委嘱)

第4条 委員及び臨時委員は、次の各号に掲げる者のうちから上尾市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が委嘱する。

- (1) 市議会議員
- (2) 知識経験者
- (3) 市内スポーツ団体の代表者

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 委員は、委嘱された時における当該身分を失った場合は、その職を失う。
- 3 委員は、再任されることができる。

- 4 臨時委員は、特別の事項に関する調査審議を終了したときは、退任するものとする。
(会長等)

第6条 審議会に、会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選による。
3 会長は、審議会を代表し、議事その他の会務を総理する。
4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。
(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、審議会に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成12年条例第2号)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則 (平成23年条例第11号)

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。
(経過措置)
- 2 第1条の規定による改正前の上尾市スポーツ振興審議会条例第1条の規定により置かれた上尾市スポーツ振興審議会(以下「旧審議会」という。)は、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)において、第1条の規定による改正後の上尾市スポーツ推進審議会条例(以下「新条例」という。)第1条の規定により置かれた上尾市スポーツ推進審議会(以下「新審議会」という。)となり、同一性をもって存続するものとする。
- 3 この条例の施行の際現に旧審議会の委員又は臨時委員である者は、それぞれ施行日に、新条例第4条の規定により、新審議会の委員又は臨時委員として委嘱されたものとみなす。この場合において、新審議会の委員として委嘱されたものとみなされる者の任期は、新条例第5条第1項本文の規定にかかわらず、施行日における旧審議会の委員としての任期の残任期間と同一の期間とする。
- 4 この条例の施行の際現に旧審議会の会長又は副会長である者は、それぞれ施行日に、新条例第6条第2項の規定により、新審議会の会長又は副会長として新審議会において互選されたものとみなす。

4 上尾市スポーツ推進審議会規則

○上尾市スポーツ推進審議会規則

昭和51年12月10日教育委員会規則第8号

改正

昭和53年4月24日教育委員会規則第5号

平成5年3月15日教育委員会規則第3号

平成11年3月2日教育委員会規則第1号

平成18年3月31日教育委員会規則第11号

平成23年9月27日教育委員会規則第9号

平成24年12月28日教育委員会規則第9号

平成29年2月24日教育委員会規則第3号

上尾市スポーツ推進審議会規則

(目的)

第1条 この規則は、上尾市スポーツ推進審議会条例(昭和51年上尾市条例第30号)第7条の規定に基づき、上尾市スポーツ推進審議会(以下「審議会」という。)の運営に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(会議の招集)

第2条 審議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

(議事)

第3条 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開き、決議することができない。

2 審議会の会議は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

(庶務)

第4条 審議会の庶務は、教育総務部スポーツ振興課において処理する。

(委任)

第5条 この規則に定めるもののほか、審議会に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(昭和53年教委規則第5号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成5年教委規則第3号抄)

(施行期日)

1 この規則は、平成5年4月1日から施行する。

附 則(平成11年教委規則第1号抄)

(施行期日)

1 この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則(平成18年教委規則第11号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成23年教委規則第9号）

この規則は、上尾市スポーツ振興審議会条例及び上尾市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例（平成23年上尾市条例第11号）の施行の日又はこの規則の公布の日のいずれか遅い日から施行する。（公布の日（平成23年9月27日）から施行）

附 則（平成24年教委規則第9号）

（施行期日）

1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

（教育総務部スポーツ振興センターに関する読替え）

2 この規則の施行の際教育総務部スポーツ振興センターに勤務している者は、別に辞令を発せられない限り、同一の職により、教育総務部スポーツ振興課に勤務を命ぜられたものとする。

附 則（平成29年2月24日教委規則第3号）

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

5 用語解説

あ 行

用語	解説	ページ
IoT	Internet of Things (モノのインターネット) の略で、さまざまな物がインターネットにつながり、相互に情報交換や制御ができる仕組みのこと。	p. 35、 p. 61
ICT	Information and Communication Technology (情報通信技術) の略で、ITに通信コミュニケーションの重要性を加味した言葉で、ネットワーク通信による情報・知識の共有が念頭に置かれた表現。	p. 35
AI	Artificial Intelligence (人工知能) の略。これまで人間にしかできなかった知的な行為を、人工的に作り出す技術。	p. 35、 p. 61
SDGs	Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略。平成 27(2015)年 9月の国連サミットにおいて採択され、令和 12(2030)年までに国際社会全体が取り組む開発目標。「誰一人取り残さない」世界を目指し、17のゴールと 169のターゲットから構成されている。	p. 34

か 行

用語	解説	ページ
共生社会	障がいの有無や年齢、性別、国籍等を問わず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会のこと。	p. 3、 p. 30、 p. 33、 p. 36、 p. 41

さ 行

用語	解説	ページ
スポーツ基本法	昭和36(1961)年に制定されたスポーツ振興法(昭和36(1961)年法律第141号)を50年ぶりに改正し、スポーツに関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務並びにスポーツ団体の努力等を明らかにするとともに、スポーツに関する施策の基本となる事項を定めるもの。	p. 5、 p. 56
スポーツ推進委員	市町村におけるスポーツ推進のため、スポーツ推進事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導、その他スポーツに関する指導及び助言を行う非常勤職員。	p. 27、 p. 36、 p. 38、 p. 39、 p. 42、 p. 44、 p. 49

用語	解説	ページ
総合型地域 スポーツクラブ	人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、「多世代」「多種目」「多志向」という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブをさす。	p. 43
指定管理者	公の施設について、施設の設置の目的を効果的に達成するために管理運営する者。	p. 39
Society5.0	サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）のこと。狩猟社会（Society1.0）、農耕社会（Society2.0）、工業社会（Society3.0）、情報社会（Society4.0）に続く、新たな社会を指す。IoTやAIの活用により、少子高齢化、地方の過疎化、貧富の格差などの課題克服や、新たな価値の創造が期待される。	p. 35

た 行

用語	解説	ページ
第3期上尾市 教育振興基本計画 【令和3～7年度】	市の教育の課題を整理し、これを踏まえたうえで、教育の基本的考え方をまとめ、それに沿った教育振興に係る各種施策を盛り込んだ計画。 学校教育だけでなく、生涯学習からスポーツ振興、図書館サービスを含めた市の教育に関する総合的な計画である。	p. 4、p. 5
第2期スポーツ 基本計画	平成29(2019)年度から平成33(2023)年度までの5年計画であり、中長期的なスポーツ政策の基本方針として、 （1）スポーツで「人生」が変わる！、（2）スポーツで「社会」を変える！、（3）スポーツで「世界」とつながる！、（4）スポーツで「未来」を創る！を掲げ、「スポーツ参画人口」を拡大し、「一億総スポーツ社会」の実現に取り組むこととしている。	p. 3、p. 5
第6次上尾市 総合計画 【令和3～12年度】	市の総合的かつ計画的な市政運営の指針を示すものであり、将来のありたいまちの姿（将来都市像）を掲げ、まちづくりの方向性を定める基本構想と、将来都市像を実現するための施策の方向性などを示す基本計画、基本計画に掲げた施策を推進するための具体的な事業を示す実施計画から構成される。	p. 4、p. 5

な 行

用語	解説	ページ
ニュースポーツ	20世紀後半以降に新しく考案・紹介されたスポーツ群。一般に、勝敗にこだわらずレクリエーションの一環として気軽に楽しむことを主眼とした身体運動を指す。	p. 27、p. 39、 p. 42

は 行

用語	解説	ページ
P D C A サイクル	Plan-計画する、Do-実施する、Check-評価する、Action-改善するという4つの手法を用いるマネジメント手法のこと。	p. 49
部活動指導員	指導する部活動に係る専門的な知識・技能を有し、学校の教育課程との関連を図りながら、教職員と連携し、技術的な指導に従事する方をさしており、学校における部活動の指導体制の充実を図ることを目的としている。	p. 44

6 上尾市スポーツ推進に関する調査 自由記述

令和2年6月に実施した「上尾市スポーツ推進に関する調査」では、多くの自由記述の記載をいただきました。その内容は以下の通りです。

(1) 市民意識調査

最後に上尾市のスポーツ推進に関して、意見・要望等があれば自由にお書きください。

	項 目	件数
1	情報提供について	22
2	施設・設備について【建物など】	70
3	施設・設備について【利用方法・料金・交通の便など】	38
4	中高年者のスポーツについて	14
5	子どものスポーツについて	18
6	スポーツ教室・イベント・講座について	32
7	障がい者スポーツについて	1
8	スポーツ観戦について	4
9	その他の要望	34
10	公園・広場について	21
11	道路の整備について	5
12	プロスポーツの支援・誘致について	5
13	その他	16
14	アンケートについて	3
	合 計	283

- 市と民間企業が提携し、インフラ整備を積極的に行ってほしいと思います。上尾に住みたくなる人が増えると思います。
- 民間のスポーツクラブの会費の助成金をお願い致します。
- 市民が短時間でも気軽に通えるスポーツジムのような施設があるとありがたい。以前、他県に住んでいた時は、1回200円程度で利用できる、市で管理している施設があった。上尾市もこのような施設があるのか不明だが、あるとありがたい。
- 50mプール必要でしょう。人口が増えても公共の施設があまりなく、若者のスポーツ離れは、何もかも足りない。学校でのスポーツは限られている。スポーツは年齢関係なく、生きている間、必要だと思うけど。
- 外にもっとバスケットゴールを増やした方がいいです。

- 高齢者でも気軽に申し込みできるスポーツがあればいいと思う。金額もあまりかからないと助かります。会社退職後、気分転換になるスポーツクラブ等が市であるといいと思います。家にいると、うつ病とかになる人もいるので、体を動かせる場所があるといいと思う。
- 市民が気軽にスポーツへ取り組める整備を希望します。市民の体力向上や健康維持を目的としたスポーツが行える環境づくりを希望します。
- プロ野球二軍戦の試合数をもっと多くしてほしい。
- 実業団（バレーボール以外でも）への支援。
- 上尾には日本レベルのバレーボールチーム（女子チーム、病院が母体）がありませんでしたか？選手の中にはオリンピッククラスの人もいたのでは？何故もっと市と共催で、いろんなイベントにも参加してもらって、わかりやすく市民のスポーツ推進に協力してもらえないのか？失礼な言い方ですが、好材料を市の方が活かす努力と知恵が不足しているように思えてなりません（官民協力のきっかけを！！）。スポーツと健康という意味では、コロナ対策にもこのようなバレーボールチームの活用があったのではないのでしょうか。上尾市の方からのメッセージが市民にあまり出てこないような気がして仕方ありません！！運動、スポーツに興味を持たせるきっかけや機会、情報をいかに熱意をもって伝えていくかが大事（民間の力を借りる、有名人を招くなどもあり得る）。
大きな箱物の総合スポーツクラブをつくって（巨費を投じて）、本当に充実した運営をしていけるか、成果が出せるか、形骸化しないか。ここは慎重に検討する必要を感じます！！趣味、趣向、価値観の多様化した今日、公共施設でこの類の総合施設を確保するのは時代の流れに逆行しており、危険性が高いと感じます。
- 上尾市民体育祭は、特に地域の皆さんの協力あってこそその大会であると思います。これからも一層の盛り上がりを期待します。私自身もできる限り参加していこうと思います。よろしく願い致します。
- 市民みんなが楽しめる！！ウォーキング大会等どうですか？
- 平塚サッカー場、雨天時のキャンセル料をかからないようにしてください。
- インラインスケート、一輪車の練習場所を作ってください。
- 子どもが安心して使用できる施設を充実させてほしい。できれば費用は安く。
- 施設設備が必要です。
- 上尾市のスポーツ推進することの前に、環境の整備、道路・橋の補修や安全生活向上のため、災害対策の充実などを早く、強く望みます。
- 現在、歩行が完全でない。今必要なものは筋力、身体のバランス能力、平衡感覚の強化。また、ストレッチ（スタチェック能力）を指導、実行できるチャンスを作ってください。
- 定年退職した後、気軽に参加できるスポーツがあると良い。男性は外に出なくなりがちだから。
- 遊休土地の有効活用をお願いしたい。土・日は施設利用が困難であり、スポーツ（テニス）の機会を失ってしまいます。

- 市の施設でありながら、地区行事や団体優先になっていて、予約ができなかったり、希望に合わないことが多々あり、スポーツから足を遠のかせている一因もある。
- 施設設備がテニスと野球に偏り過ぎている。
- 上尾のスポーツ施設を充実させて、アクセスを良くしてほしい。
初心者から始められる講座をたくさん作ってほしい。一人でも参加しやすいと嬉しい。体育館のスポーツサークルは、グループになっていて入りにくい。
- 市民マラソンのように、興味を持つ人が誰でも参加できるような競技があると良いのと思います。
- 市民に発信する情報を一方的にならないように、興味を持ってもらえるようにしてほしい。
- 上尾市にフランチャイズを置く、上尾メディックスのようなスポーツ集団を持つことで、よりスポーツに対する関心が深まると思う。
- 小・中学生の体力向上については、他市に比べてもかなり力を入れているように感じますが、成人・高齢者となるとスポーツに関わっている人は少なくなるように思います。時間の確保や体力・技術力の個人差の大きさなど、課題はたくさんあると思いますが、スポーツをすること、スポーツに関わることの魅力や利点などをたくさんの人が感じられるような仕組や取組がより進むと良いと思います。
- 相撲やプロレスの巡業が市内で見られたら嬉しいです。
- もっと若い時に色々知りたかったです。今はアツピー元気体操をやっています。コロナの前。今はお休みです。
- コロナの時で大変だとは思いますが、市民体育館を使用する際、ネットで予約できるようにして頂くと、使用しやすくなり、助かります（抽選、キャンセル待ち等）。体育館まで距離があるので、整理券をもらって、また時間になったら行くと、2往復はしんどいです。
- スポーツを楽しむ手段・目的は個人によって異なります。多くの選択肢があれば、それぞれが積極的にスポーツに楽しみを感じることができるかと思います。
- スポーツ宣言都市にふさわしい施設。
- 手軽に安く、スポーツジムみたいなものがあれば嬉しい。公民館等の施設を利用したスポーツ、フィットネスがあれば良いと思う。
- “スポーツのまち”をうたっておきながら、学校では走らせるだけ。スポーツを“できるようにする、ルールを知る”など教育的な事は一つなく、スポーツ嫌いになりました。スポーツを好意的に捉えられるようになったのは大学以降です。スポーツを振興する気があるのなら、まともな教育をしてください。
- 83歳の老人です。毎朝早く、丸山公園まで車で行き、7,000歩目標に妻とウォーキングと腕立て伏せ、屈伸運動で鍛えています。早朝の公園、季節季節の空気に癒されています。最近の丸山公園の環境、池の状態の悪化など、整備をお願いします。

- 大人には、健康のための運動器具のある施設が充実していること。でも、子どもの頃から運動はしっかりしていた方がいいと思うので、子ども達が運動したくなるような、最初の取っ掛かりは楽しいからでもいいと思うので、そうした施設やクラブ（よくわかりませんが）を充実させたらと思います。
- メディックスさんしか知りません。もう少し施設の中の整備をしてほしいです。若者がなかなか入りにくいです。図書館予定地だった空き地が、とても勿体ないかと思えます。高齢の方が使用しているのをたまにしか見ません。有効活用してください。
- 子ども達が学校のスポーツクラブ一つだけに毎日縛られることのないようにして、もっと他のスポーツクラブで、他のスポーツも楽しめる曜日を備えては？機械ゲーム遊びの楽しみばかりでなく、スポーツを楽しむ、リクリエーション的なスポーツクラブはどうでしょうか。
- 毎年、駅からハイキングに出席している者ですが、今年はコロナのために色々な事が自粛することになって残念です。早く元のようになってほしいですね。
- 上尾市には市民プールがないと思っている（西貝塚処理場の温水プールがあるが、西の方にあり遠い）。気軽に安価に利用できるプールがあると良い。特に市の中心地（地理的に市の真ん中辺りに）にあると利用しやすいと思う。
- 体育館やジム、各スポーツクラブ等、常に常連の方やグループができあがっており、初心者が後から入っていきにくい状況が多いです。また、時間を調整しやすいことから高齢の方が多いような気がしますし、仕事や家事をしながらスポーツの時間を取るのも大変です。初心者や運動が苦手な人も利用しやすく工夫してほしいです。
発声や整形外科で行っているようなりハビリ的なものもスポーツとして取り入れて考えて、より多くの方々が体力維持と向上をできるようにして頂きたいです。
- スポーツもいいが、芸術により力を入れてほしいです。
- 総合型地域スポーツクラブについては、今回初めて知りました。スポーツを通しての地域交流・世代間交流は、新たな地域活性化にもつながると思いますので、是非、実現して頂きたいです。
- 学校より運動会中止との連絡があったが、さいたま市などは、実施を検討中とのことなので、是非上尾も実施のご検討をお願い致します。また、6年生が対象の陸上競技大会に関しましても、実施して頂けるよう切に願っております。親の応援禁止などの規則を設けて頂いて構いませんので、是非子ども達の日頃の努力を発表する場を作って頂きたいです。よろしくお願ひします。
- 今年の上尾シティマラソン中止決定はとても残念です。来年に期待しています（スタート混雑がネックです）！！
- 丸山公園に運動・スポーツ施設を併設してほしい。また、駐車場を拡張設置してほしい。
- 息子の事ですが、学生時代に「アーチェリー」をやっていました。社会人になっても手軽に利用できる「アーチェリー場」があればいいのにと話しています。すでに上尾市にもそのような施設があるのかもしれませんが、情報が入ってきません。

- 自身はスポーツができる体調ではありませんが、皆さんが楽しく、また、目的を持って取り組んでおられる姿には拍手を送り、応援しています。
- 子ども達が進んでスポーツに入って行ける環境を作ってほしい。スポーツ少年団、多種目が経験できるような少年団が理想です。
- ブリヂストンサイクル社と共催でサイクリングイベントを実施してほしい。自転車の交通ルールを小中高校にて教えるように警察と連携してほしい。
- 市民体育館設備充実！！
- 西楽園（さいたま市大宮区）が近いので利用してます。わくわくランド、たまに行きたいと思いますが、運動施設が利用しづらい。それに料金が高い。入場料と使用料で高すぎる！！もう少し安くしてほしい。その点、西楽園は入園料100円、使用料0円。体操や色々な器具が揃っていて、無料で使用できます。我々高齢者は安くて安全で楽しめる事が一番です。
- スポーツに興味がなく、参考になるアンケートの答えではなく、お役に立てず、申し訳ございません。体のためにはスポーツは大切だと思います。仕事ばかりなので、スポーツをする時間ありませんが、時間があればスポーツもやってみたいと思います。
- 体育館が少ないため、各団体が予約が取れず、大変な状況だと聞くので、使える施設が増えることを願います。
小学生のスポ少等、指導者不足も感じます。年に何回か現役選手を招いて指導や話が聞けると未来に繋がると思います。
- 子育て世代でも気軽にできるようなクラブチーム。気軽に体験、参加できるクラブチームがあってほしい。
- ソフトボールの運営に係わっている者ですが、市内には県大会（男子）等の大きな試合を招致できるような会場がありません。グラウンドの充実をお願いしたい。
- 高齢者が参加できるスポーツが行っているのかどうかがよくわからない。
- 私は今、総合型地域スポーツクラブについて卒業論文を書いています。上尾市にどのような地域スポーツクラブがあるのか、ネットで調べても情報があまり出てこなかった。今度、お電話で総合型地域スポーツクラブについて色々とお聞きしたいです。
- 高齢化に伴う健康寿命体操を年寄りの行ける時間帯で、近くに介護トレーナーの人が教えてくれるような場所がほしい。介護施設はたくさんあるが、入れる人ばかりではないことも考えておかななくてはならないので。日頃から老いを感じている。今できる時から少しずつ始めたいと思うので！
- 高齢者でも明日への生きる希望の持てる指導者がほしいです。
- とても充実した施設があるので、イベント等、盛り上げてほしい。そのために、渋滞等、なくせるよう取り組んでほしい。
- 夜にランニングを行っているので、街灯が多い、もしくはきちんと整備されていると安心して走れます。

- スポーツ全般、市民が自由に遊べるクラブを。
- 現在住んでいる近くに、以前は水上公園があったが、なくなってから10年近く経っているが、廃止されたままで何の設備もできていない。何のために壊したのかわからない。海のない県として水上公園ができた、当時は言われたが、年齢を問わずに利用が可能な水上公園の再構を希望する。
- 年を重ねてまいりますと、昨日と同じように体を動かしたいという思いが強くなり、健康の保持のために軽い運動は必要です。若い皆様は、スポーツ施設など十分に利用し、はつらつとした上尾市民でいられますように願っております。
- 上尾市民体育館をもっと大きい物にしてほしいです。
- 大石公民館の体育室を利用している者ですが、最近はクラブが増えたせいか、毎週1回使用できたのが、月1~2回しかとれません。せめて3回は利用したいです。
- 現在、県営になっている水上公園の「流れるプール」は利用できなくなっているが、上尾市に運営を委譲してもらって復活してほしい。この件は前知事をお願いしたが、経営の面で困難だということだった。流れるプールは水なし県としてシンボルだ。我が子世代も水上公園で育てられ、懐かしい思い出になっている。
- サイクリングロードの整備、サイクリングマップの作成、サイクリングロードのトイレの充実。
- 障害者が気軽に参加できる体操教室（トランポリン）を作って頂きたいです。
- 他の市町村よりスポーツに力を入れていると思います。
- もっとたくさん情報を知りたいです。どこで何の教室をやっているのか。何曜日、時間、会費、調べてもよくわからない時があります。障がい者とか関係なく楽しめるスポーツ教室があったら嬉しいです。
- 市民体育館のような施設が家から通いやすい場所にあれば、もっと利用したい。数が少なすぎです。ジョギングコースのある公園、市内にもう少し数を増やしてほしい。
- 高齢者が安全な場所で運動できる教室（施設）があると、運動不足による筋力の衰えが減るのかなあと思います。
- 上尾市の市民体育館で卓球をやりたいが、あまり知名度がない。気軽に卓球できる仲間がいない（レベル）。高年齢である。
- 例えば、あるスポーツに参加したら体のケアのため（疲れをとるため）、この施設1回サービスできるよ、みたいなことがあったりすると、参加者が増えると思う。親世代（40~50代、あるいは30代）は疲れやストレスが多いから、子どもが興味を持つか、「これがあるから」という得がないと参加しないかもしれません。
- 上平テニスコートをよく利用します。コート整備の方やクラブハウスの方がとても親切で、いつも気持ち良く利用しています。コート自体がそろそろ穴などがあり、使用に不安もあります。設備の改修をお願いしたいです。

- 市内には岡田久美子さんのように有名な方もいますが、その他にも大勢いるように思われます（例：学生スポーツ等）。発掘して広報紙等を通して市民に紹介して頂きたいと思います。
- 健康のためのスポーツには興味はあるが、日焼けは避けたいのと、平日の日中は仕事があるので、平日の夕方以降、土・日にスポーツができるなら始めてみたいと以前から思っていました。バレエで行うストレッチのような基礎的なもの（運動）をしてみたいと思います。一人でも参加できる、夜間テニス等があったら嬉しいです。
- 埼玉アイスアリーナのスケート教室や一般入場料を60歳以上は半額程度にしてほしい。
- 幼少期に体験したスポーツが、その後の中学・高校等にまで及ぼす影響が大きいと思います。多種にわたるスポーツを経験することができれば、可能性を広げることができるのではないのでしょうか。
- スポーツ施設が東側に偏っていると思う。西は市民体育館だけのように思う。また、一つ一つの施設が小さいと思う。新たな計画があるとすれば、もっと大きく。
- 公園等に気軽に運動できる器具を設置してほしい。もはや公園は子どものためだけではなく、あらゆる世代の人が活用するものだという認識を持ってほしいです。ただ遊具を適当に配置するだけでは人は集まりません。もっと海外などの例を研究してほしいです。
- 子ども達が遊べるぐらい、様々なスポーツのクラブを作ってほしい。
- 地元プロスポーツ人の支援
- 子どもが外で運動できる、運動しやすいよう、公園等でボールを使えるようにしてほしい。体育館が予約できないことが多々あるので、体育館を増やしてほしい。
- 中学校の部活にもっと力を入れてほしい。時間短縮になって練習量が減ってしまっただけでは、活動していてもなかなか上達しない。もっと理解を！！
- 苦手な子どもにコツを教える先生がほしい。体を動かすと気持ち良く、楽しい事を一人でも多くの人に！！苦手な鉄棒・縄跳びができた時の嬉しさを知ってもらいたい。それが全てのスポーツに目を向けるきっかけになると思うから。子どもの頃から。
- 市内の県立の施設の個人貸出についての要望。上尾水上公園内に卓球台10数台の利用施設があるが、毎日利用者がなく、自肅前は妻と2人で週1回程利用していたが、年金生活者には60分410円の料金は負担であり、60分だけで切り上げているが、高齢者割引等の制度があれば非常に助かり、利用者も多くなると思う。
- 瓦葺に住んでおりますが、瓦葺には公民館がありません。スポーツのできる公民館が近くにあると嬉しいのですが。
- 平塚サッカー場の利用料で、地域や高齢者への減免制度をお願いします。
- フルマラソンの誘致または実施、ボルダリング施設の誘致または実施をお願いしたい。
- 大石ウォーク等の気軽に参加できるイベントを増やしてほしいです。
- 原市地区にも自転車でいける運動場やイベント開催を期待している。

- 埼玉県はサッカー王国と呼ばれていた時代もあったので、サッカー施設の充実や子ども達のサッカー技術向上に尽力してほしい。
- 上尾シティマラソンの運営について。他のマラソン大会に出場した時に感じるのですが、もっと露店等出店してお祭りにすれば盛り上がると思う（水上公園駐車場近くに）。参加賞のTシャツについても、もっとデザインを格好良くしてほしい。そうすれば練習している人のTシャツを見て、上尾シティマラソンに参加してみようと思う人が「間違いなく」増えるので、ちゃんと考えてほしい。
- 気軽に利用できるランニングマシーンが駅近くにあると嬉しい。
- 腰が曲がるのや背が丸くなるので福祉施設で治療を受けています。治療といっても運動なので、1回だけ教えてくれて、自分で1日3回、毎日やるのです。2週間に1回施設に行き、状態を見るだけですが、費用が高なので基本だけ教えて頂けることはできないものではないでしょうか。82歳。
- あまりスポーツに関する情報が市から発信されている感じがしない。こういったアンケートを出している以上は、市から積極的にスポーツに関する情報を発信すべきではないか。正直、今の段階でこういったアンケートにお金を使うよりも、情報発信や市のスポーツ団体等にお金を使って、周知すべきだし、周知された後でアンケートするでも遅くないと思う。
- 高齢者がスポーツ施設を利用する時、タクシー券の割引券等を市で発行してもらいたい。
- 小学生から体力をつけるよう、ご指導してください。
- 他市町村と比べグラウンド等、確保が難しい。上尾市としてもっと多くのグラウンドを増設して頂きたい。
- 運動しなければまずいという自覚はあるが、仕事と家事に追われて、気力・体力が残っていない。市としても頑張っていると思うが、国としてもっと働き方を変えてもらわないと難しい。
- 市の役割をバランスよく行ってほしい。スポーツ推進は非常時には優先する事ではないと思います。
- 上尾には少年ラグビースクールが活動できる、管理された芝のグラウンドがほとんどないため、増やしてほしい。
- 土・日、小学校の校庭を子どもに開放してほしい。野球で使用できない。
- 気軽に使えるトラックフィールドがない。上尾陸上競技場を市民へ開放するなどのサービスがあれば使用したい。丸山公園やわくわくランドを拠点とした、マラソントレーニングコース整備。荒川河川敷サイクリングコースを含めたコースプラン、公園内にシャワー設備設置。公園内の林道を使ったトレーニングコース整備。わくわくランド内のトレーニング設備の充実。運動する活動量でポイントを与え、ポイント数に応じたサービスの提供⇒市民の健康増進。
- 3年前、心筋梗塞にて入院（10日間）。退院後、健康維持のため、体育館にて筋力アップトレーニング、歩行、自転車運動を主に行い、本年4～6月はコロナ禍にて休止中。6月末より再開するつもりです。アンケートに対しての事ではありませんが、上記の文にて。
- 高齢なので、これから特にスポーツすることはできないと思いますが、ウォーキングをすると万歩計が頂け、その成果により特典があると伺いました。楽しみながらスポーツができると良いと思います。

- 私はわくわくランドのプール等を利用しております。近くに施設がないので、今は車に乗っておりますが、その内に行く足がなくなります。通いたくても行けなくなると思います。「ぐるっとくん」等の便がほしいですね～。
- スポーツをする場所がないと思います。バスケットゴールをもっとたくさん作ってください。
- 土・日・祭日がメインになるイベントを平日にも希望。
- スポーツ推進を通して上尾市のイメージアップを図ってほしい。併せて、「文教都市」へもチャレンジしてほしい。魅力ある上尾にしてほしい。
- 初心者でも気軽に参加できる場があれば良い。スポーツクラブと聞くと、閉鎖的で敷居が高く感じ、一見さんお断りのイメージ、怖い。誰でも簡単に参加できるなら行きやすい。
- コロナを通して通勤の大切さを実感しました。ウォーキングでは上平公園をよく使います。
- バスケットコートをもっともっと増やしてほしいです。
- アップー元気体操のリーダーをやっておりますが、コロナウイルス感染防止で期限なしの休止のため、会員の皆様の健康維持を心配しています。一日でも早く対策をお願いします。
- 公民館等でのスポーツは高齢者向けで、時間帯が合わず参加できません。現役世代でも参加できる内容・時間帯のイベントや教室等を増やしてほしいです。
- スポーツを行う場所について。原市地区ではほとんど、学校の校庭・体育館を利用して行っているが、原市地区に体育館を造る予定はありませんか。
- スポーツは心身共に健全になれるので、年齢に関係なく接する機会が多くなることは良いことだと思います。
- 水上公園の屋内プールが閉鎖され、市内には西端のわくわくランドのプール、一ヶ所しかない。東側の住民にとってはアクセスも不便であり、中央以東にも整備してほしい。よろしくをお願いします。
- 市民プールがない！普通じゃない。
- 上尾メディックスの交流会とか定期的にやると良い。プロスポーツへの無料招待なども。
- 4月7日、緊急事態宣言発令から、県外の友人との飲み会、ゴルフなど、今現在自粛中。なお、近所のゴルフ同好会、月1回コース参加及び週2回練習場、平日のみ。
- テニスコートの利用など、当日空いていたら30分単位でも利用できるようにしてほしい。スポーツイベントをやってほしい。運動会だけでなく、ストラックアウトなど。公園にストレッチや体を鍛えるような器具を置いてほしい。
- 上尾市民体育館を利用していますが、今度ジムに入ろうかと思っています。もう少し広ければ良いのですが。スポーツ（初めて、初心者）イベント、体験などを市報で募集して、気軽に参加、体験できるようにする。よく子どもと行っている丸山公園の自然イベントは、その方法で募集しています（市長の畠山さんにも参加して頂いています）。中分スポーツ公園は、私、大石地区ですが、場所を知らない！！調べてみたら、近いのに奥まった場所で、これはわからないなあと思った。知る人ぞ知る。

- 昨年の秋に行われたジョギング教室に参加しました。「何か運動を始めたいけど、何をしたら（何から始めれば）いいかわからない」という状況だったので、知識のある方に初心者向けに教えて頂き、とてもありがたく、また楽しかったです（台風での中止が残念でした）。私のような「運動はしたいけど、まず、どうすればいいかわからない」というような人が、スポーツを始めるきっかけになるような講座が増えると嬉しいです。社会人も参加しやすいよう、休日開催だとありがたいです。
- 障害者の健康・体力向上が望めるような機会を増やして頂きたいと思います。
- 私はラジオ体操指導員ですが、ラジオ体操を行える場所の確保をお願いしたい。ラジオ体操は老若男女、健常者、障害者も参加できるスポーツです。
- スポーツをできる施設が、もっとたくさんできるといいと思います。
- ベンチプレスの時間制限を。多人数での使用とし、人数×20分で改善してほしい。
- さいたま市三橋公園にあるような、通年利用できるプールを作ってほしい。※コロナ自粛期間中、上平公園多目的広場で、ジュニアのソフトテニスの団体が度々練習していました。保護者の方が用具等、車で運んでいました。熱心なのはわかりますが、周囲が理解したり、応援する気持ちにはなれません。
- 市民体育館の設備を増やしてほしいです。
- 健康について。スポーツ推進にスポーツへの関心度UPが必要。そのためには、色んなスポーツの結果の広報を充実してほしい！名前が載ることで、より頑張ることができるし、近所の話題にもなり、コミュニティが広がる。その拡大がスポーツ人口を増やし、スポーツ各々のレベルUPに繋がり、結果として健康年齢UPになる。
- 大勢の人がだいぶ前から加入していて、新しい人は入りにくい。入りたい部はもう一杯らしい。
- 高齢者がゆっくり過ごせる公園がほしい。アクセスの良い所で、読書ができたり。
- 市のスポーツ施設が西口側に集中していると思う。駅東口側からは遠く、利用しづらい。
- 上平公園にクライミング施設（加須市にあるが）、大会誘致。スポーツ宣言都市であるのに、これといったスポーツがない。市民体育館の規模が小さい→上平公園にスポーツ施設を。スポーツ都市「上尾」を目指して。
- 個人でできる運動を勧めてもらえると、人間関係にトラウマのある人も参加しやすいと思いました。
- 駅周辺の利便性の良い所に作ってほしい。
送迎バスなど作ってほしい。
- プロスポーツの大会を誘致してほしい。地域のスポーツの拠点をもっと増やしてほしい。サイクルサッカーという室内自転車競技があります。マイナーですが、世界大会も行われている種目です。私は大学で練習していますが、身近な練習場所がありません。そのような種目の練習拠点や教室を開いてもらえると、市の一つの特徴にもなるでしょうし、プレイヤーとしてはありがたいです。
- 原市地区で、どこで、何をやっているのかわからない。自宅の近くでやりたいと思います。

- 施設の利用時間や設備充実度で劣るので東京へ行ってます（仲間もいるので）。利用者の理解度にもよると思われます。あるから使うのではなく、利用してみたいと思わせるような施設を望みます。
- スポーツに目を向けるのは良いが、結局、箱物に金をつぎ込むのだと予測する。上尾市、市長、市議会には不信感しか持てない。もっと「人」に予算を使え。利権No！
- スポーツもいいですが、他市に比べて文化、芸術面がとても少ない。福祉会館も50年以上。芸能人または芸術性のあるものがとても少ない。スポーツもいいが、芸術面の充実を希望します。他市を参考に前向きに検討すべきと思う。スポーツによる上尾市の発展はない！！
- 市の施設ではありませんが、スポーツ総合センターの多目的室に、冷暖房の設備を設置するよう市から要請してください。
- 身近（市内）にある子ども達のスポーツクラブチームや中学校運動部等、もっと多くあればと思います。
小さな公園は色々ありますが、スポーツメインの公園等は少ないような気がします（ウォーキング、ランニングしながらグラウンドや体育館でスポーツをしている所を目にできるようなところ）。
- 市民プールを作ってほしい（市営、50mプール）
- 結果を出すことを重要視するのではなく、身体を動かすのって楽しいなというのをまず最優先にスポーツを推進してほしいです。そうすればスポーツをする人が増えやすいと思いますし、その中でプロを目指す人が出てくれたら良いですね。応援しています。
- 以前は同じ場所・時間でできた練習が、今は場所取りがなかなか大変です。どのスポーツもそうなのかもしれませんが、同じ場所でいつもできたら良いと思います。
- スポーツ推進の割には、小学生や中学生の運動の幅を狭くしているように思います。先生方の労働時間の関係もあるとは思いますが、スポーツに力を入れてくださる先生とそうでない先生の給料に差をつければ、長く働いても喜んで指導してくださる方もいると思います。基本的には子ども達が好きな方々なからです。
- 上尾市はスポーツ施設自体はたくさんあり、充実しているとは思いますが、老朽化が進んでいる施設もあるため、リニューアル、建て直し等をして頂けると嬉しいです。
- 上尾運動公園の陸上競技場を安価で使用できるようにしてもらいたい。
- 歩いて行ける所にスポーツできる所があると良いです。
- ジムやプール等の充実した施設（低料金）
- ウェイトトレーニングの設備を充実させてほしい。
- 他に類のない、特化した振興を期待します。何でもよいので、スポーツを通して“上尾市”がクローズアップされる企画を考えて実現してほしい。まちおこしの魅力あるCITYに！！テンションage age 上尾市スポーツ振興課。

- 誰でも手軽に取り込める組織の確立が必要と考えます。一例ですが、私、現在、地域のグラウンドゴルフ（いきいきクラブ）で週2回楽しんでます。20名程度の固定メンバーです。ここに新規メンバーが加わるのは、なかなか難しく、困難なことと思われます。これが、簡単にできれば良いと思っています。
- 運動ができる公園を作ってほしいです。小さいのを数多く。
- 新規転入者でも参加できるスポーツイベントや交流（スポーツ）があれば参加してみたい。
- 上平公園のテニスコートを利用していたが、冬期の夜間利用ができなくなるのが非常に不便だった。
- 身体が不自由で何もできません。両眼と両足が不自由です。
- 本アンケート結果を参考にスポーツ運動活動の推進向上に活用して頂きたい。
- 埼玉県の子供の（上尾も）運動能力が低下しているように思います。学校では、私達の時代では皆やっていた朝マラソン等なくなっています。子どもが体力をつける機会と場所がもっと増えると嬉しいです。
- 先日、市民体育館に行ったら、知人の先生が聖火ランナーと知ってビックリ！！
- 何年か前に大学駅伝部の方々が、小学生に走り方を教えてくれる教室がありました（応募しましたが、残念ながらハズレてしまいました）。現役の方が教えてくれるというのは、時間的にもなかなか難しいことだと思いますが、またその様な教室が開かれないか心待ちにしています。親子で参加できると、なお嬉しいです。
- 上平公園の隣り、図書館予定地だった所に東市民体育館を作ってください。
- 60歳過ぎたら利用したい。どこに行けば情報があるのかよくわからない。結局、抽選でできないのは困る。スポーツは必要です。
- 体調が悪いため、やろうという気にならないです。
- 市報で募集している公民館の教室、平日昼間だけでなく、土・日や夜時間も開催してほしい。
- コロナ時代、スポーツで克服。上尾で先鞭をつけてください。
- 私の住まいは瓦葺です。上尾市の中心からとても遠く、上尾市の施設などを利用することは不便なので、今まで利用したことはない。こちら方面も充実した施設がほしい。
- 上平地区の中でも桶川市に近いので、市の施設は距離的に利用しづらい。とても不便、不公平を感じている。
- 子どもサッカー専門のグラウンドがほしいです。
- スポ少は勝つためだけのものか？それだけを教えるものなのではないでしょうか？下手でどんなに頑張っても、上手な子は抜けない。スポ少なだから、勝つために上手な子ばかり試合に出すのではなく、人数の足りない時に入団し、長年やってきた子も試合に出すべきだ。結局つまらなくなり、やりたくなくなり、スポーツから離れる。甲子園や国立を目指す高校生ではない！！

- スポーツを盛んにするために！健康な高齢者を増やす（ハードルの高すぎない→参加しやすいクラブ）。保護者が仕事をしているために、クラブに参加できない子どもの支援。スポーツ施設までの「足」、送迎を考えてください。
- 上尾市には運動施設が沢山あるので、現状、満足しています。
- 漠然とですが、市内のスポーツ情報を発信・確認できる携帯アプリを開発するのがいいと思います。すでに類似のコンテンツがあればスママセン。
- コロナで運動不足です。思うように外出できず、ストレスも溜まっています。小さい子どもがいるので、とても気を使っています。コロナを気にせず、運動不足を解消したいです！
- 世代関係なく体を動かす、運動をする（できる）ように働きかけてほしい。施設を新たにつくることは、維持など色々課題が出てくるので、既存の施設、学校の校庭を有効に活用できるようにしたい。自分が子どもの頃、休みの日には必ず学校の校庭で野球をやっていた。同じ様にとはならないにしても、子どもが走り回れる遊び場をどうしていくとかも、スポーツ推進につながるのではないかと思う。
- 車を手放すのは非常に残念。歯医者、外科、内科、美容院、バスも通っていない所ばかり。私の自宅は16号に面している。是非、バス停をつくってください。子どもが一週間に一度乗せて行くといっても、急な用事がことさら多く、歩くのも3,000歩がやっとなだ！！お願い！！
- 参加自由のスポーツ大会をやってほしい。クラブチーム（みんなが集まる会合）を増やしてほしい。
- テレビでケアピラティスの番組があったので、上尾市でもやってもらいたい。
- 気軽に運動できる施設を増やしてほしい。室内で運動できる場所を増やしてほしい。子どもが安心して運動できる場所がほしい。
- 公民館の体育室等、予約する時に団体登録をしていないと予約できないシステムになっていますが、登録がなくても、誰でも簡単に予約ができるようになってほしいです。
- 子どもが安全に遊ぶ場がない。あったとしても親の収入や就業時間に左右され、スポーツ技術や体力の差等が親の財力や余裕次第になっている。地域として子どもの“居場所”としてスポーツが存在してくれれば、平均的な体力向上につながると思う。
- 今は仕事も辞めて家に居ますが、もっと働いていても運動できる教室が土・日に行えるものがあつたら良かった。情報が無い。
- 施設が中央（上尾市）になく不便。利用できないです。アンケートの回答は、1枚の用紙にしたらどうですか？
- 年を取ってから、健康寿命が延ばせるような内容のスポーツに、気軽に参加できるような何かを作してほしい。子ども達も大切だと思いますが、老人も大切にする市づくりを希望します。
- 私は武道館、大谷公民館を利用しています。また、イコス、市民体育館等も場所が取れない場合、利用します。今は自転車ですが、「ぐるっとくん」の時間など増やしてほしいです。よろしくお願ひします。
- 上尾水上公園の再活用。バスケットゴールの多数設置。

- 僕らが子どもの頃は、学校のグラウンドや校庭が開放されていて、良かったよね。今は防犯の面や子どもの声がうるさいだの、遊んでいてケガをしたらどうするんだと言う親達や、何やかんや難しいのかな？気軽に親子がボール遊びでも、駆けっこでもできる広場みたいなのがあればいいよね。
- 子どもが自由にボール遊び、自転車乗りできる場所が少なすぎる。公園も午前中は老人会でも、3時すぎは子ども優先にしてほしい（遊具がなくても広場でいいので）。
- さいたま市という県内一の都市と隣接しており、南北に県道が通っているというアドバンテージを活かしてほしい。上尾市民だけでなく、近隣市民も上尾に来て、体を動かしたくなるような施策を望みます。スポーツと違うけれどドッグランがほしいです。
- 戸崎公園は何度か利用したことがあります。ブランコ等の遊び場では、多くの子どもが利用していますが、パークゴルフを利用している人は、少ないように感じています（自粛期間は多くの方が利用していました）。私もパークゴルフを利用したことはありますが、何度もやりたいとは思いませんでした。利用者があんなに少ないのでは、赤字なのではないでしょうか。税金のムダだと思います。公園周辺ではウォーキングをしている人はたくさんいますし、人が集まらないわけではないと思います。住民の意向を無視して作った施設なんですから、黒字になるよう運営してください。開いている時間、閉まる時間がわかりにくいし、何度も行ったがよくわからなかった。
- 様々な年代の子どもがそれぞれ安心して遊べる場所がほとんどないと感じる。未就学児・小学生・中学生それぞれが、危険なく全力で遊べるよう、時間・日・場所等を分けて遊べるような制度があると良いと感じる。例えば、○月○日（土）△△小学校校庭は未就学児に開放、数人のレクリエーション担当がいて、それぞれ遊びを提供、当然安全責任は親が持つ。よろしくお願い致します。
- 健康プラザわくわくランドのプールを利用したいが、車の免許を持っていなく、大変交通が不便のため、バス便が多ければとても助かります。何度かバスで行きましたが、続きませんでした。市民体育館のスポーツジム施設は機材が少ないのと、初めてだと使うのに難しく、指導してくれる方がいれば助かります。もっと便利な場所にプール施設を作って頂きたいです。
- 安価に利用できるトレーニングジムはどちらかにありますか？このような情報は市の広報サイト等に載っているのでしょうか？
- 正直、運動することは、あまり好きではないので、興味はありません。そういう人もいます。
- 健康を保つために、体を動かす程度で十分です。そのような場を設定してください。
- 市営のジムが駅近くにあれば利用したいです。
- かつて使っていた「スポーツ宣言都市」はどこへ行ってしまったか？「市民綱引き大会」はどうした？地元「メディックス」をもっと強く推したらいかがですか。プロ野球のホームタウン制を見習ってほしい！
- 色々なスポーツイベントを開催してもらいたい。
- 運動した人はどこでもできる。運動しない人の健康増進のために、自由に利用できる施設（予約なし）、「いつでも参加できる」というイメージを出せれば良いのですが。

- 70代女性。30～40代はテニス、今は卓球を初めて1年。今はピククルボール、ボッチャ等、新しいスポーツをしてみたいです。
市民体育館が近いので、トレーニング室にも通っています。スポーツに参加することは、遠い近いも左右されるので、ある程度市全体に均等になる様、場所を決めてほしいです。
- 平方スポーツ広場について。交通アクセスが悪い。設備を充実させてほしい。現状、ただの広場。野球、サッカーだけでなく、バスケットゴールを設置してほしい。
- 中高生の運動部指導は控えめにしてもらいたい。自分が中学生の時（大谷中学校）、部活動時間が長すぎて、勉強時間が削られていた。朝7時～始業、終業～18時（冬）・19時（夏）、土・日も半日は部活があった。
- 健康維持のためにスポーツをすることは必要と思いますが、今はコロナ関係以外のことには考えが及びません。
- 駅前に何かしらのスポーツ施設があれば利用したいです。
- 市民プール（三橋にあるような）を上尾の西側に作ってほしい。
- 私が学生の頃からスポーツ都市宣言として施策が色々あったようですが、人々の暮らしの中に浸透しているとは思えません。市民の健康増進に役立っているという実態が見えません。
学校体育が運動嫌いを作っていると思うので、小学生が能力に応じて楽しく、体を動かせる場所があると良いと思います。
- 少し時間ができたらパークゴルフ等をやってみたいです。
- 競技者のレベルアップも必要ですが、市民の健康維持のためのクラブ、サークル、教室等の情報などを広めてください。やりたい、参加してみたいと思っても、わからない事が原因の一つと思います。
- 現在は各中学校に器械体操部（部活）がありません。本当は各中学校に器械体操部を復活した方が良いと思います。それからスイミングスクールをもっと充実させた方が良いと思います。
- 施設の数はあると思うが（野球場、テニス場、体育館等々）、子ども達が安全に遊べる場所が全くない。広場もないし、あってもただの広場で遊具もない。スポーツも大事だが、スポーツの前段階である自由に走れる、遊べる場所が必要だと思う。
- 自分はスポーツに関心がないが、スポーツ環境の充実は地域全体の活力に繋がると思う。
- 特になし！！やりたい人が、満足のいくように！！
- 自分がスポーツ苦手なので、子ども達と楽しく動ける設備（公園にトランポリン等）があると嬉しいです。
- 上尾マラソンを楽しみにしていましたが、中止となり残念です。来年の開催を心待ちにしています。上尾メディックスというプロチームがあるので応援したい。
ランニングの際に歩道が悪くなって転びそうになったり、ベイシア前の通りの生垣が伸びて、歩道が狭くなり、走りにくいことがあります。

- 上尾市に住んで1年半位ですので、詳しい事がわかりません。以前は尼崎市に住んでおりました。尼崎市は健康と体力向上（スポーツ）に力を入れていたように思われます。自転車で行けるような範囲に体育館等が2～3ヶ所あり、毎週、体操やスポーツ等が行われておりました。半年毎に募集があるので行きやすかったです。チラシや広報等でも目にとまりやすく、参加してみようかな、という気持ちになりました。上尾市も気軽に楽しめるスポーツが増えたら良いなと思っております。
- 推進にあたり、予算をきっちりと取ること。
- 上尾市内は県のスポーツ施設もたくさんあり、スポーツ推進は比較的進んでいる方だと思います。文化的な施策とスポーツ施策がバランス良く進められると良いと思います。
- 陸上競技場の外周は使いやすいと感じているが、暗くなると敷地内のライトでは明かりが足りず、少し怖いと感じている。また不審者なのか、浮浪者なのかは不明だが、そういった姿の人を見かけるので、防犯面を強化して頂けると、安心して利用できるのかなと感じる。
- 市外（県外）から移住した人にも、スポーツ推進についてわかるように周知してほしいです。子どもが生まれてから、あることを知りましたが、具体的な事まではわかりませんでした。今後もスポーツ発展のため、スポーツ推進を進めて頂けますよう、よろしくお願いします。
- 一人でもテニスを楽しめるように、壁打ちができる場所をもっと多く作ってほしいです。私は上平公園が近いので時々行きますが、壁打ちスペースはバスケットコートの中にあり、とても譲り合いが難しいです。上平公園のどこかに、または近くに（新図書館ができる予定地だった辺りに）壁打ちを作ってもらいたいです。西側地区ばかり色々作っているので、東側にも何か作ってもらいたいです。また土・日にできる大人のテニス教室も作ってもらいたいです。現在、平日に行われているようです。
- 上尾運動公園（県営）のプール、フィッシングが休園になるが、市で何かできないか。
- 子どもが小さい頃、いろんなスポーツをやらせたかったが、車の免許がなく、通わせることが難しいと感じた。子どもだけで通えることのできる送迎などの工夫で、いろんなスポーツにふれさせられたら良いと思う。あと、指導者の育成もとても大切だと思う。中学～高校の部活動では体罰もあったので（市役所に訴えても改善してもらえず）、指導者の人間性も重視して、子ども達にスポーツによる精神面の成長を期待します。
- 子どもから年寄りまで、みんなが参加できるスポーツをもっと増やしてほしいです。
- 公園→広場、多目的グラウンドが少ない、狭い。スポーツのすそ野が狭い→普通の人が気軽にスポーツ（運動）できる場所は少ない。
- サッカー及びバスケットボールを簡単に楽しめる場所を増やしてほしい。
- 中学校の周囲の道を安心してランニングできるように整備する。
広い緑地公園にウォーキング等のコースを整備する。

- 上尾市はスポーツに力を入れている割に、施設整備や施設数が貧弱。
サービス面でも施設使用料をどんどん値上げし、とても選手を育成するとか、スポーツ推進で健康維持、長寿を目指すとは思えない。誰もが使いたい時に廉価で使用できるくらいの寛容さとポリシーがないと、他市に差をつけられるのでは。いつまでも受益者負担をとか言っているようでは、未来に展望を持ってません。
- 無料で参加できる企画があれば良いです。平日は仕事なので土・日にしてほしいです。
- スポーツをしたくても、そこにたどり着くまでの手順、システム、申し込み方法などがわかりづらい事が多々あります。門戸を広げる工夫をしてほしい。
- 個人的には年々スポーツに興味がなくなってしまい、特に現在スポーツをしていないのですが、社内（上尾市に隣接している会社です）では、有志で上尾シティマラソンに参加しているグループがあります。運動に興味がある世代や人にアピールする事で、興味のない人達にも浸透する気がします。
- 自分も障がい者また若くないので、自由に運動できない。今は見ているだけです。上尾市のスポーツ発展に頑張ってください。
- 適正な予算配分、透明性の確保。一部の人の利権とならない様にする。誰でも参加しやすい環境づくり。
- 上尾市に引っ越して来たばかりなので、わからない事が多いです。スポーツは好きなので、地域の方とスポーツを通じて交流できたら嬉しいです。
- 今どこで何のスポーツをしているか、気軽に聞ける、電話で聞くことができる、インターネットなどで調べることができない人も気軽に参加できるように。
- 現在、市民体育館弓道場を利用させて頂いております。この道場は一度に3人が的に向かって弓が引ける「3人立ち」の道場です。色々なスポーツや武道には、それぞれ決められた広さを必要として、その中でゲームを楽しんだり、練習に励んでいます。弓道は剣道や柔道のような対戦相手がおりません。一人一人が的と向き合い、正しい動作の修練を積み重ね、5人が調和した間合いや動作（体配）の中で、段位に応じた動作や的中など、総合的に判断され、昇段が決まります。5人での揃い稽古が大切です。上尾市においても、是非5人立ちの道場を作ってください。
- スポーツが単に「スポーツ好き・得意な人達」だけでなく、むしろあまり関心がない人達に、実は運動・スポーツを人生に取り入れることによって、脳科学的や精神医学的にもメリットがあるんだという事の認識を広めてもらって、多くの市民が無理なく、運動・スポーツを楽しく習慣化しているような街だったら素敵だなと思います。
- 公園でもキャッチボールができない、子どもが大きな声を出して遊びにくくなっているように思えます。地域全体で理解が必要。
- 埼玉県立武道館に指導者として稽古に参加するのですが、夏期（プール開場時）に駐車場が使いづらく、有料となるのを対応してほしい。
大相撲の巡業を開催してほしい（前に市民体育館で開催していたので）。

- 年代や性別によって、また個人差の体力や体質によって、スポーツの技術や知識だけでなく、体は食べる物・飲む物でしかできないので。栄養の知識があると、スポーツの成果が出ると思うので、そういう講座があるといいと思います（指導経験上、そう思います）。
- 市民が安く利用できる体育館をもっと増やしてほしい。
- 一流のアスリート競技を間近に見ることから、スポーツに関心が向くと思う。しかし、情報発信はあると思うが、高齢者は受けにくく、終了してしまってから内容を耳にすることがあり残念！特に陸上競技。アイスアリーナができて、見学・入場できるのか？いつやるのか？ロードレース（自転車）も観戦したいが、さいたま市へ行くしかない。早めに情報をキャッチするにはどうしたら？と悩む。
- 50mプールを作る。上尾市の水泳レベルが全国レベルなのに、無いのはおかしいと思います。
- さいたま市に比べてあまり文化的な所が発達していないと感じる。会社員になり、ずっと税金を払っているが、その辺は望めないのだなと思っている。せめて平方地区の道路を整備してほしい。割れている所などがあり悲しくなる。コロナになり、なかなかみんなですportsも難しい。
- 場所の予約が取れないと、継続できないと聞いたことがある。
- スポーツの向上や施設も必要だが、公園や遊具が少ないのが問題だと思う。子どもの時の発達は重要なので、力を入れる必要があると思う。また公園などを通じて、交流も豊かになると思う。都内などに比べると私の住んでいる本町周辺には公園と呼べるものが少なく、車で行かないと満足できる公園はない。自然と、テレビゲームをする子どもが増えて行く状況を作り出している。また子ども会などのsportsも、もっと告知して広げた方がいいと思う。これだけプールやスケート、テニスコートがあるのもったいない。
- プロ野球の試合を開催してほしい。

(2) 団体意識調査

最後に上尾市のスポーツ推進に関して、意見・要望等があれば自由にお書きください。

	項目	件数
1	施設・設備の設置や増設について	8
2	施設の抽選や優先予約について	2
3	高齢者の活動の場について	1
4	スポーツ協会のあり方について	1
5	スポーツ事業について	1
6	競技内容の正しい理解について	1
	合計	14

- スポーツ協会のレクリエーション部会は廃止し、独立組織とすべきである。
- 新しい体育館の設置を希望します。
- 当地域での高齢化が進んでいます。その点上尾市はパークゴルフ場など、軽いスポーツの施設等設置してくれ、大変喜んでいますが。益々老人対象の（グランドゴルフ等）施設を要望いたします。
- 弓道連盟の活動に関しては、県内で100名を越える会員で、的が3つ（3つでは大会等できない）の施設は有ません。道場は原則5的が最低条件です。よろしく願います。
- 会場とりがなかなか取れず、体育館を増やして欲しい。
剣道場は武道優先の予約にして頂きたい。剣道場の床が、靴の使用で穴があいたり、傷がついたりして、足指が引っかかり危い。
- 体育館を早急に建てて欲しい！！市民体育館1つでは、さまざまな団体が希望し、なかなか大会のために利用できないです。これだけのスポーツ人口がいて“1つ”というのは、大変困難、願います。
高齢者の遊べる（活動できる）場所を作って欲しいです！！
- 県の施設を使用している関係で、競技場（含む補助競技場）の利用者抽選会に外れると、安全な場所での活動ができなくなる。サッカー場の利用ができないか、または市営の陸上競技場を計画して欲しい。
- 現在の状況で回答すれば、体育施設の増設が第一（体育とレクリエーションが一緒になっている為）。遠い将来的な事を言えば、スポーツと学問は別々にして、スポーツは、総合型スポーツクラブで行うべきである。しかし、この問題は国が主体でやらないと完成しない！！スポーツ宣言都市上尾らしく、もう少しスポーツ事業に力を入れた上尾市政にしていきたい。
- 上尾市はスポーツ都市宣言をしてから40年が経過しています。しかし、県の施設は上尾市内にありますが、市が独自に利用できる施設は不足しているために、スポーツ団体の利用は苦勞しているのが状況で、体育館や多目的グラウンドなどの施設整備が必要だと思います。総合型地域スポーツクラブは、市でも育成できると考えていますが、やはり市の支援として施設整備が重要になると思います。

- 当競技内容を正しく理解していただけていないので残念に思っています。老人から小学生、男女同等に競技でき、障がい者の方でも同じく参加できることの理解をPRしたいと思っています。スポーツ推進の中、広い活動に期待します。
- 市民体育館の利用に関する抽選へ参加は、種目ごとに1団体として欲しい。特定の種目に複数の団体が抽選に参加すると、種目間での公平が保たれない。

第2期上尾市スポーツ推進計画

令和3年3月発行

【編集・発行】上尾市 教育委員会 スポーツ振興課
埼玉県上尾市本町三丁目1番1号 本庁舎7階
TEL 048(781)8112 (直通)